

被害の状況 2



地震発生時刻を刻む時計（宝塚小学校）



脱線し傾いた阪急電車（栄町1丁目）



宝塚（阪神）競馬場。駐車場1階部分が押しつぶされるなどの被害を受けた



1階がつぶれ傾いたマンション（中山寺1丁目）



震度7の揺れにより多くの建物が全半壊となった花のみち周辺



川面4丁目



江戸時代の宿場町として栄えた小浜地区では「町家」の多くが全半壊となった。



スクラップとなった自動車（宮の町）



壊れた中国自動車道の橋脚（売布3丁目）



けたが落ちた歩道橋（売布3丁目）



安産祈願で知られる中山寺は、建物や石垣、墓地などに甚大な被害を受けた



県指定文化財（中山寺）



中山寺2丁目



国指定重要文化財（中筋八幡神社）



旧橋本関雪邸（売布）



道路（路肩）の崩壊（紅葉ガ丘）



地震による地割れ（山本東2丁目）



崩壊した足洗川の擁壁（中山寺3丁目）



震度7を記録した JR 中山寺駅北側の被害
（中筋3・4丁目）



運動場にも大きな地割れが走った（宝塚第一中学校）



コンクリートがはがれ、鉄筋がむき出しになった柱（長尾中学校）



仁川駅前の地割れ

第2章 被害の状況

「地震の特徴」で触れたように今回の地震は、地下深さ14kmという比較的浅い部分で発生し、断層が横にずれることにより起こったもので、大きなエネルギーが一挙に吹き出し、このため、地震の継続時間が短い反面、揺れの振幅が18cmと観測史上最大になるという強い地震であった。また、我が国の経済活動の中核を担う大工業、商業立地地区があり、人口350万人余が集中している。この直下で起こった阪神・淡路大震災は、我が国が初めて経験した内陸の大都市直下型地震であった。このため、過去に例

をみない大災害となった。

1 被害の総括

宝塚市は、震源から40kmほど離れた位置にありながら、地質上不利な断層線上ということから次表のように大きな被害を受ける結果となった。

(1) 宝塚市の被害状況一覧

被害区分		単位	被害状況	備 考
人	死 亡	人	118	平成8年6月4日現在
	行 方 不 明	人	0	
	負 傷 者	人	2,201人	重傷60名、軽傷2,141名
物 件	全 壊	棟	3,553	5,535世帯 平成8年1月22日現在
	半 壊	棟	9,296	14,737世帯 平成8年1月22日現在
	一 部 損 壊	棟	14,305	20,905世帯 平成8年1月22日現在
	全 焼	棟	2	
	一 部 焼 損	棟	2	
そ の 他 の 被 害	公 共 施 設	カ所	市役所、市立病院等一部破損	
	市 立 学 校 等	校・園	46校	幼稚園9園、小学校24校、中学校12校、養護学校1校、内3校一部校舎建替
	道 路 等	カ所	876	
	公 園	カ所	58	10園閉鎖
	溜 め 池 等	カ所	12	
	治 山 ・ 砂 防	カ所	8	
	橋 梁	カ所	13	
	河 川	カ所	16	法定河川11河川、砂防河川1河川、普通河川4河川
	ク リ ー ン セ ン タ ー	棟	4	一部損壊
	鉄 道	鉄道名	JR宝塚線、阪急宝塚線、阪急今津線不通	
水 道 断 水	戸	約50,000	南部市街地約74,000戸の内68%	
下 水 道	カ所	1,160	榭 349、取付管 291、マンホール 520	
電 話	回線	7,100	約80,000回線の内約8.9%	
電 気	軒	90,000	(電灯、動力含む)	
ガ ス	軒	69,100	震災前全軒数75,000 復旧67,400 差数=全壊	

(市災害対策本部調べ)

(2) 被害の概要

- ① 避難人数 15,945人 (最大時1/18)
 避難所数 65カ所 (最大時1/20)
 避難勧告 2地区 160戸 484人
 逆瀬台6丁目 73戸 242人(1/21)
 紅葉ガ丘 87戸 242人(1/22)
- ② 火災件数 全焼2件、一部焼損2件、車両の
 焼損1台(1/17)
- ③ 宅地の被害 山麓住宅地の損壊

(3) 医療機関の被害

- ① 市立病院等医療施設
 診療所 有床13 内全壊1、
 無床120 内半壊5
 歯科診療所91 内全壊4、半壊5
 助産所 有床2 内半壊1、無床8
 内全壊1 半壊2
 歯科技工所15 内半壊2
 薬局62 内全壊3

② 宝塚保健所

壁面にクラック

③ 健康センター

表玄関、体育館内壁等クラック

(4) ライフラインの被害

ライフライン	震災発生時の状況
水道	地震発生と同時に南部市街地で断水
下水道	汚水桝等に損傷
電気	地震発生と同時に市街地を中心に停電
ガス	地震発生と同時に南部市街地で供給停止
電話	地震発生と同時に南部市街地を中心に不通
道路	地震発生と同時に道路、橋梁の一部損壊
鉄道	JR宝塚線不通 阪急宝塚線不通 阪急今津線不通

(5) 商店街、小売市場の被害

商店街25、全店舗数1,031の内全・半壊店舗数103、
 小売市場10、全店舗数209の内、全・半壊店舗数72

(6) ホテル・旅館の被害

宝塚温泉を支えてきた宿泊施設も甚大な被害を受

け、和風旅館はすべて全壊・半壊状態。鉄筋コンクリート造りのホテルも亀裂が生じるなど大きな被害を受けた。震災前12軒あったホテル・旅館(武田尾を除く)のうち5軒が廃業し、休業している2軒については、順次、リニューアル・新築オープンの手配。

(7) 市営住宅の被害

本市の市営住宅26団地、952戸の建物自体には、全半壊等の被害はないが外構、外壁及び住戸内部に修繕を要する相当数の被害を受けた。

(8) 下水道施設の被害

下水道施設への被害は、次の表のとおりであった。

		武庫川処理区		原田処理区	
汚水管	管路被災延長	2,938m		313m	
	ます被災箇所	296箇所		53箇所	
	取付管被災箇所	252箇所		39箇所	
	マンホール被災箇所	451箇所		69箇所	
		宝塚排水区	良元排水区	小浜排水区	長尾排水区
雨水路	幹線被災延長	54m	716m	23m	221m
	面整備管被災延長	592m	1,568m	1,951m	192m
	合計	646m	2,284m	1,974m	413m

(9) 公共施設等の被害

① 学校・園等

幼稚園16園中9園、小学校24校全部、中学校12校全部、養護学校の壁面等にクラックやジョイント部に被害。

特に顕著な被害の建物は宝塚小学校の中校舎棟及び南校舎棟、宝塚第一中学校の南・東校舎棟及び技術棟、並びに長尾中学校の北校舎棟の被害が大きくいずれも解体して、一体的に建て直すこととなった。

② 中央公民館、東公民館、西公民館

防火ドアの破損、館内漏水、内・外壁クラック、高架水槽のずれ等の被害があったが、避難所として使用するため、危険回避のための修理を早急にすることにした。

③ 中央図書館、西図書館

配水管破損、空調機・受水槽破損、地盤陥没、壁クラック等の被害があったが、早期開館をめざし、早急に危険回避の補修を行うこととした。

④ 小浜宿資料館

壁クラック及び剝離等の被害があったが、展示説

明板は危険回避のため早急に修理することにした。

⑤ スポーツセンター

テニスコート8面破損や、高司グラウンドのフェンス一部破損の被害があったが、利用者に危険を及ぼさないので、平成7年度で修理することにした。

⑥ 文化財

「国指定重要文化財」

八幡神社（中筋2丁目）……本殿覆屋が倒壊する被害があったが復旧は可能であった。

「県指定重要文化財」

素盞鳴神社（高司2丁目）……覆屋が倒壊し、平成7年度で建替予定

「市指定文化財」

泉流寺（山本台1丁目）……十一面観音菩薩立像一部損壊の被害を受けたが、復旧は可能であった。

売布神社（売布山手）……社号標石の倒壊の被害を受けたが、復旧可能であった。

「歴史的建造物等」

社寺及び江戸後期から昭和初期に建造された民家が全壊、半壊の被害を受けた。

⑦ 市役所

庁舎内外部壁面斜めクラック及び床面クラック、並びに構内通路等のアスファルト舗装部分のクラック等が発生した。

⑧ 水道局庁舎

壁面にクラックを生じた。

⑨ 保育所

市立保育所9園のうち

建替えを必要とする保育所……1保育所

修繕を必要とする保育所……3保育所

の被害を受けた。

⑩ 公園施設等

市内には、街区公園、近隣公園、地区公園、運動公園等合わせ207公園があり、そのうち58公園が擁壁の亀裂、地割れの被害を受けた。

(10) 震災に伴う波及

上記以外の被害も多々ある中で、直接的被害にとどまらず、避難所生活の長期化、それに伴う精神的疲労や子供・高齢者、障害者等への心理的影響、学校等教育機能の低下、ライフラインの復旧の遅れ・交通渋滞などによる不便な生活の長期化や都市機能の低下、雇用の不安定化など市民の生活に対する震

災の影響はさまざまな面に現われた。

また、大量の災害廃棄物処理の長期化や、これに伴う環境への影響など、震災がもたらした被害は広範囲で、多方面にわたる深刻なものとなった。

2 物的被害状況

(1) 被害状況の調査

① 発行の経緯とその状況

被害状況調査に関することは、財務部の調査班（税務管理課、市民税課、資産税課）の担当で行い、調査班の現地調査した結果に基づき福祉部厚生課で発行した。

最初のうちは、発行件数は少なかったが、援護金や、義援金を受ける場合には、半壊、全壊の認定が必要と報道されるや、たちまち、発行を求める多数の市民が殺到した。それに合わせて、被災者証明の発行場所も転々と移動し、発行場所が手狭となり、整理券を発行した。

それでも、被災者証明を求める市民があまりにも多いため、長時間要したり、最後の方に証明書を手渡した時は、午前0時前だった日もあった。

② 被害調査の実施

平成7年1月18日から同年1月22日

③ 被害調査票の作成

平成7年1月18日～1月22日

(2) 被災者証明書の発行

① 被災の認定基準

被災の認定にあたり、次のように全壊・半壊・一部損壊の基準を設けた。

ア 全壊

住家の延床面積の70%以上又は、住家の主要な構造部の被害額が、その住家の時価の50%以上に達した程度のもの。

イ 半壊

住家の延床面積が20%以上70%未満のもの又は、住家の主要な構造部の被害額が、その住家の時価の20%以上50%未満のもの。

ウ 一部損壊

全壊及び半壊に至らないもので、補修を要する程度のもの。

② 認定をするための調査

初動体制として、1月22日までの間、財務部、会計室会計課、建築指導室及びまちづくり推進室で毎日40名、車両20台の体制で調査。更に、被害の聞き取り、写真等の資料、専門家による現場調査を3月から6月の間に、約1,300件の調査をおこなった。この調査に当たっては、新潟県をはじめとする遠方の他府県からの応援職員や、民間大手建設会社からの専門技術職員の応援を得た。

③ 被災証明書の発行開始

平成7年11月23日

④ 被災者証明発行状況(平成8・1・12現在)

全壊 3,553棟 5,535世帯
 半壊 9,296棟 1万4,737世帯
 一部損壊 1万4,305棟 2万 905世帯

⑤ 被災証明書の様式

第 号
被災者証明書

住 所		
世帯構成員	氏 名	生 年 月 日
	世帯主	
災害の日時及び種類 平成7年1月17日 午前5時46分 平成7年兵庫県南部地震		
被害状況 ○ ○ ○ ○		
付 記 家財等についても相当の被害が生じたものと認め ます。ただし、この件については実地調査は行っ ていません。		

上記のとおり相違ありません。
 平成 年 月 日
 宝塚市長 正司 泰一郎

⑥ 被災者証明の窓口

福祉部 厚生課

3 人的被害状況

阪神・淡路大震災による死者数は、兵庫県6,279人、大阪府28人、京都府1人の合わせて6,308人で、福井地震(1948年)の3,769人、伊勢湾台風(1959年)の5,101人を上回り、国内の自然災害に関する戦後

最も多くの犠牲者を記録した。明治以降の震災犠牲者としても、関東大震災(1923)、三陸沖地震(1896年)、濃尾地震(1891年)に次いで4番目の数である。

震源に近い神戸市(4,484人)、西宮市(1,107人)、芦屋市(433人)では特に亡くなった方が集中しており、この3市だけで6,000人を超える被害となった。

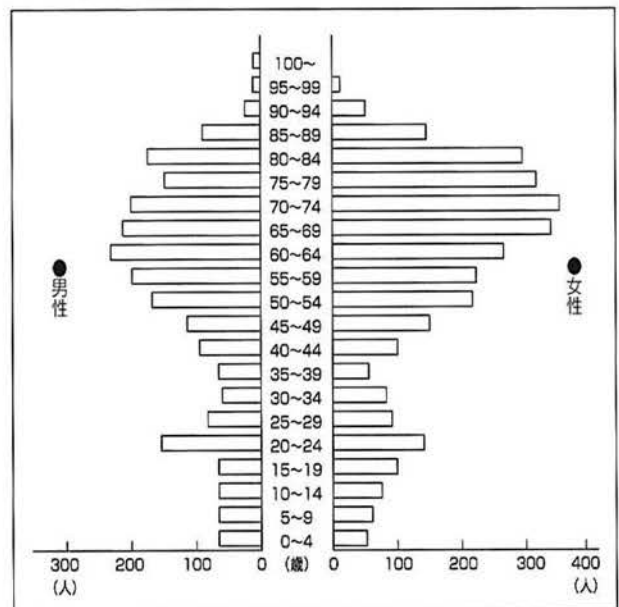
死亡者を年代別にみると、65歳以上の高齢者が多く、全体の4割以上を占めている。死亡原因は、家屋の倒壊による窒息、圧死が最も多く、次いで震災で発生した火災による熱傷死となっている。

この地震による死亡者を、府県別に分けると右表のとおりである。

府県別死者数		
府 県	死亡者	
大阪府	大 阪 市	16
	そ の 他 の 市	12
	計	28
兵庫県	神 戸 市	4,484
	西 宮 市	1,107
	芦 屋 市	433
	淡 路 島	59
	宝 塚 市	117 <small>(H8.6.4現在118)</small>
	そ の 他 の 市	79
計		6,279
京 都 府	1	
合 計		6,308

出典：大阪府、兵庫県、京都府の消防局防災課
 (大阪府 平成8年2月5日現在)
 (兵庫県 平成8年2月6日現在)
 (京都府 平成8年1月17日現在)

図1 阪神・淡路大震災の死者(厚生省調べ)



また、宝塚市の死亡者は、平成8年6月4日現在では118人にのぼった。亡くなった原因と、年齢別死亡者については、下表のとおりである。

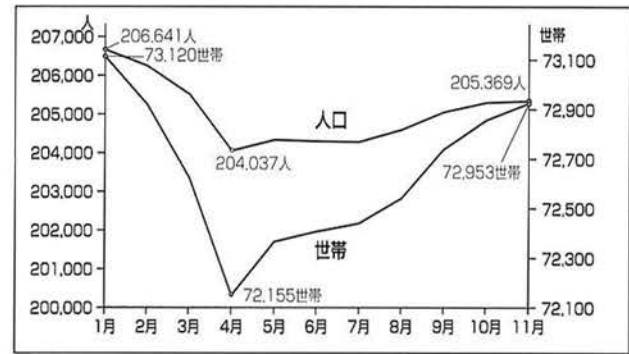
しずつ戻り、被災以前の規模に安定してゆく状況が示されている。

(1) 宝塚市の死因別死亡状況と年齢別死亡者数

宝塚市の被災後10か月間の人口、並びに世帯数の推移をみると、次の図のとおりとなり、4月をピークに市域外へ避難された人が急増している。

その後、余震が終息し、被害地域の復興、整備が進むにつれて避難されていた人は震災前の数値に少

図2 人口・世帯数推移



宝塚市の死因別死亡状況と年齢別死亡者数

死 因	総 計 (人数)		1/17	1/18	1/19	1/20以降	年齢別	男(人)	女(人)	計
	男	女								
窒 息 ・ 圧 死	男	20	20				0～4		1	1
	女	45	45				5～9	1	1	2
	小 計	65	65				10～14	3	1	4
焼 死	小 計	0	0	0	0	0	15～19	2	4	6
頭 ・ 頸 部 損 傷	男	3	3				20～24	4	2	6
	女	5	4			1	25～29	1	1	2
	小 計	8	7			1	30～34		2	2
外 傷 性 シ ョ ッ ク (火傷、打撲、出血等)	男	1		1			35～39		3	3
	女						40～44	1	1	2
	小 計	1		1			45～49		4	4
内 臓 損 傷	男	2	2				50～54		1	1
	女	2	2				55～59	2	2	4
	小 計	4	4				60～64	2	5	7
そ の 他	男	17		1	1	15	65～69	7	10	17
	女	23	1			22	70～74	5	6	11
	小 計	40	1	1	1	37	75～79	8	10	18
不 詳 及 び 不 明		0	0	0	0	0	80～84	3	13	16
							85～89	4	5	9
							90～94		3	3
合 計	男	43	25	2	1	15	合 計	43	75	118
	女	75	52			23				
	小 計	118	77	2	1	38				

(2) 児童・生徒の被害

児童・生徒の被害状況は、次のとおりである。

		幼稚園	小学校	中学校	盲・養護学校	計	備 考				
被 災 児 童		122	1,039	492	2	1,655					
内 訳	死 亡	0	2	4	0	6	仁川小1	長尾小1	長尾中2	宝塚中1	宝塚一中1
	重 傷	0	1	1	0	2	丸橋小1	宝塚一中1			
	父母を亡くした児童	0	2	0	0	2	仁川小1	長尾小1			



朝日新聞社 東京都千代田区西 1-3-1 電話 03-261-0111

号外

万全の対策講じる 村山首相は十七日朝 神戸

を中心とした日本の地震被害 今後、被害の状況に応じ、万全の対策を講じていく。村山首相は十七日朝、神戸で記者会見を行い、このことについて述べた。

早朝 神戸で震度6



京都5・大阪4、死傷多数 震源淡路島M7.2、各地で被害



各地の震度

各地の震度は次のとおり。
震度(0) 京都府(宇治・宇治川)
震度(1) 京都府(宇治川下流)
震度(2) 京都府(宇治川上流)
震度(3) 京都府(宇治川上流)
震度(4) 京都府(宇治川上流)
震度(5) 京都府(宇治川上流)
震度(6) 京都府(宇治川上流)

100人生き埋め情報も

十七日午前四時四十分、近畿地方を中心とした西日本を襲った。大阪府東部の震源で、震度(6)の強い地震があった。大阪府東部の震源で、震度(6)の強い地震があった。大阪府東部の震源で、震度(6)の強い地震があった。

近畿の鉄道網マヒ

近畿の鉄道網は、地震の影響で全面的にマヒした。多くの列車が脱線し、乗客が生き埋めになった。神戸方面では、多くの乗客が生き埋めになった。

ホテルが倒壊 客カン詰めに 神戸・中央区

神戸市中央区加藤町三丁目のホテルが倒壊し、多くの客が閉じ込められた。消防隊が救出作業を進めている。

神戸市中央区加藤町三丁目のホテルが倒壊し、多くの客が閉じ込められた。消防隊が救出作業を進めている。

1月17日(火)



近畿烈震 死者439人



M7.2 不明は583人

震源は淡路島 高速道崩落、鉄道マヒ

十七日朝六時十六分、兵庫県淡路市沖の沖ノ島沖で、マグニチュード7.2の地震が発生した。震源は淡路島の沖ノ島沖で、震源の深さは約10キロメートルと推定されている。地震発生後、淡路島を中心に、兵庫県内各地で、多数の建物が倒壊し、道路や鉄道が寸断された。死者は439人、行方不明者は583人と推定されている。

朝日新聞 夕刊

明日朝刊大阪本社
電話:06-6211-1111

夕刊
大阪本社:06-6211-1111

夕刊
大阪本社:06-6211-1111

地盤のため配達が遅れました

「平成七年兵庫 県南部地震」

「福井地震以来の死者68年ぶり」

福井地震以来の死者68年ぶり

震度6は、福井地震以来の死者68年ぶり。死者は439人、行方不明者は583人と推定されている。



震度 神戸6・大阪4

震度6以上の地域は、淡路島沖を中心に、兵庫県内各地に広がった。神戸市では、多数の建物が倒壊し、道路が寸断された。大阪府でも、震度4を観測された地域があり、一部で建物の倒壊や道路の損傷が確認された。

地震発生後、兵庫県内各地で、多数の建物が倒壊し、道路や鉄道が寸断された。死者は439人、行方不明者は583人と推定されている。

余震相次ぐ
兵庫東部など
90万世帯停電
乗客千

大地しん

光明小三年 坂本 ひでとし

ゆめをみおわっておきました。そしたら、いきなりグラグラグラとゆれました。はじめは、ゆれがちいちゃいので、

「ゆめの中で、電車がきたかな。」

と思いました。そしたら、グラグラすごいゆれになりました。まるで、日本全体がゆれてるみたいでした。ふとんにくるまりました。そしたら頭の上でガッチャン、ガラスがわれました。それで、じしんがなくなったので、おきようとすると、お母さんが、

「うごいちゃあかん、あんたのまわりにガラスがある。」

と言ったので、外を見ました。そしたら真っ暗でした。そして、おにいちゃんがおりてきて、かいちゅうでんとうを持ってきてくれました。それで、ぼくのまわりのガラスをとってくれました。おねえちゃんもてつだってくれました。それまで、ぼくはぜんぜん動けませんでした。そしたら、おねえちゃんが、

「よこから出ておいで。」

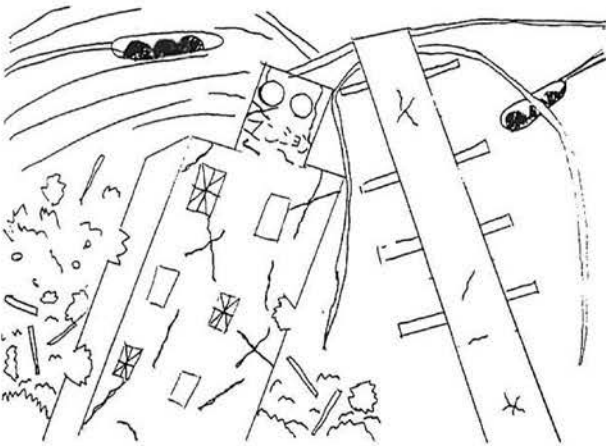
と言ったので出ました。そしたら、おねえちゃんがおんぶしてくれました。それで、台所のあるへやまでつれてってくれました。それで立ったら体全体がふるえていました。寒いがこわいのでふるえているのかわかりませんでした。そしたら、お母さんがすわっていました。そして、見たら、タオルで左の頭の後ろのほうをおさえていました。

「どしたん。」

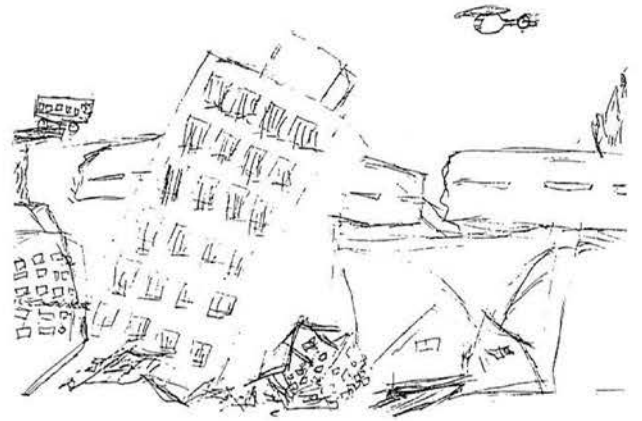
と聞いたら、

「血が出る。」と言っていました。

そしたら、げんかんの戸があいた音がしました。見ると、お父さんが帰ってきました。同時にお兄ちゃんも帰ってき



安倉北小 勇山 優子



安倉北小 詫間 雪香

ました。それで、ラジオをつけてじしんのことを聞きました。それで、お父さんはどこでどうしたかと聞きました。そしたら、

「小林えき前のアンファニーの前でじしんにあった。」
と言っていました。

歩いていたら、いなびかりがあって、「どうしたのかな。」と思ったら、足の下にしんどうがつたわってきて、「やばい。」と思ったら、足の下がゆれたと言っていました。それで、急いで帰ってきたと言っていました。

それから、ひなんしないで、テレビのあるへやをなおし始めました。外国で買った物とかいっぱいわれていました。でも、いらぬようなおさらばっかりのこりました。それでもいいのがちょっとのこったので、ダンボールの中に入れときました。それから、お兄ちゃん二人は、自分のへやをなおしていました。おねえちゃんもかたづけました。おとうさんは、ぼくとお母さんとお父さんでねるへやをかたづけていました。

おひるになってやっとみんなのへやは、きれいになりました。ごころからお母さんは、びょういんに行ってみてもらいました。でも三時間待ちでした。だから、帰ってきて、

「なんでそんなにまたないといけないやろ。」

と言っていました。それから、ぜんぶのへやがきれいになったら、みんなおりてきてテレビを見ました。いろいろなことがわかりました。

「ほんと、じしんはこわいんやな。」

と思いました。

そのよるみんなは、へやのなかのタンスのおちてこないあんぜんなとこでねむりました。ぼくは、そのよるふとんに入ってもずっとねむれませんでした。つぎの日、お父さんは、かいだしにいていました。お母さんは、頭をぬったので、あまりうごけません。ぼくは、こんなじしん、にどときてほしくないと思いました。こわかった。

うそー

西山小学校四年 岡野 淳也

グラグラとゆれた時、お父さんの大きい声で、ぼくは目がさめた時にまた、よしんがきました。

ぼくたちが、ねていた所はたんすにかこまれていて、たんすがしょうぎだおしみたいにたおれていた。

「だいじょうぶか。」

と、聞こえてきてその時となりの人が助けにきてくれて、お兄ちゃんとお姉ちゃんとぼくをたんすの中から助けだしてくれた。

ぼくたちを助け出してくれてから、お父さんがおばあちゃんを助けにいった。

それで、お父さんがぼくたちにかいちゅうでんとうを一こずつわたしてくれた。

犬のペコは、お母さんがもっていました。

たったの、何十秒かでピアノ・本だな、冷ぞう庫、たんすがたおれたりよこにうごいたりしていたのでしんは、すごいんだなあ~と思った。

しょっきだなのしょっきがすごくいっぱいわれていた。

ワイングラスだってわれた。

台所に一步も足を入れることはできなかった。

外を見ると、ちゅう車場の地面にひびがいていて、前のとうを見るとかべにひびがいていました。

じんがおきる二日前にサッカーボールを買っていて、ボールがパンクをしていないかがしんばいだった。

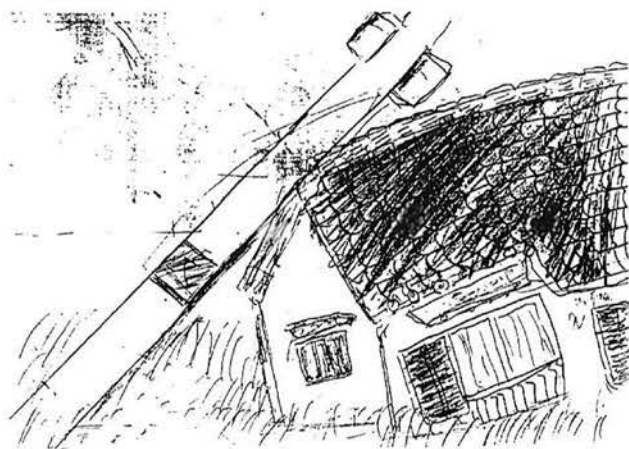
サッカーボールはふじだった。

後は、かたづけとかでいそがしかった。

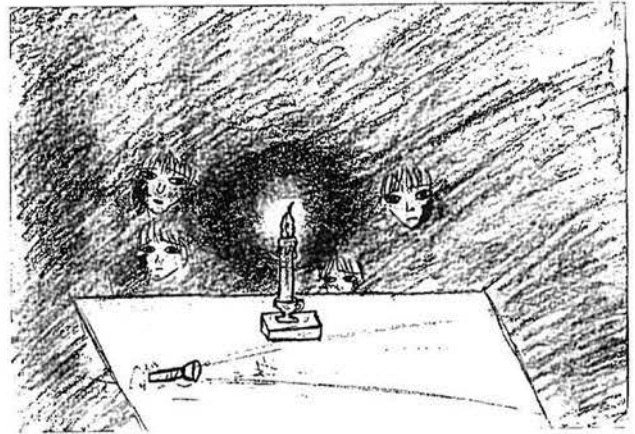
お父さんの会社の友だちが家にきて食料と飲料水をもってきてくれました。

ラピスタに友だちがいて、せんとくに行きました。

まだ、つづくからこわいよー。



安倉北小 林 ゆり



安倉北小 藤久保 絢子

大きな地しんがあった日

西山小学校四年 岡 晴彦

最初の、

「グラ。」

というゆれで、目がさめました。ぼくは、またねようとしたら、どんどんゆれるのは、はげしくなっていました。ぼくは、おしれいまで、ボールのように、コロコロとこころげていってしまいました。ぼくは、こわくなってふとんをかぶりしました。しばらくするとゆれはおさまりました。ぼくはそのすきに、弟と、お父さんたちがねている部屋に行きました。お母さんが、

「今からほかの部屋を見にいくけどここにいなきゃだめだよ。それからまた地しんがきたらふとんをかぶりなさい。」と言いました。それから何回か、小さな地しんがあったけど地しんがあるたびに、ふとんにもぐりこみました。お母さんが、

「なにこれえ〜。」

と台所でひめいをあげたので、ぼくはせなかが、ソク、としました。お父さんたちが帰ってきていっしょにテレビがある部屋に、行きました。そして、弟が台所に行こうとしたら、お父さんが、

「ガラスのはへんがあちこちにとびちってるから行っちゃだめだよ。」

と言いました。しばらくして、ほかの人たちが、

「大じょうぶですか。」

と心配してきてくれました。そして午前九時に電気がついたので少し安心しました。

そのあとちょっと水道から水が出たけど、すぐとまりました。地しんでひなんしている人がいるからそんな人にくらべればよっぽどましだけど、一日も早く水とガスが出るようになればいいなと思いました。

園児が描いた大震災

(末成幼稚園)



レンジもおちてきて、いえのなか
がぐちゃぐちゃになった。



たくさんものがおちてきてこわ
かったよ。



いえのなかもそもめちゃくちゃ
になったよ。



かわらがいっぱいおちてきて、ヘルメットをかぶっ
ていたんだ。



もう、ぐちゃぐちゃだったよ。



おとうさんがいちゅうでんとうで、ぼくたちをお
こした。れいぞうこもあいて、やさいがこぼれたよ。



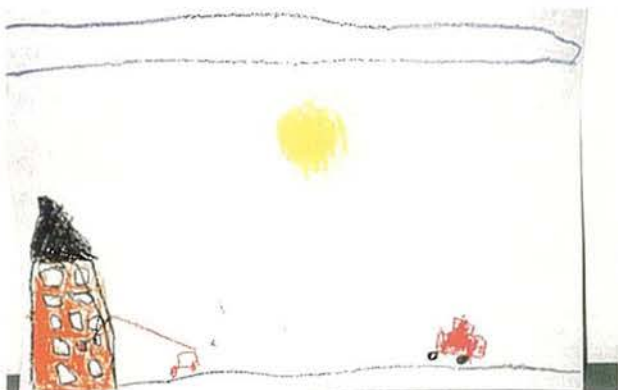
じしんがそらからおちてきた。ねてるばしょにもお
ちてきた。



せんたくきのみずがこぼれたり、いろんなものがおちてきたよ。おかあさんがわたしのうえにのっかったよ。



かべがとれて、そらがみえて、それでもねていたからおかあさんがみずをかけておこしてくれたよ。



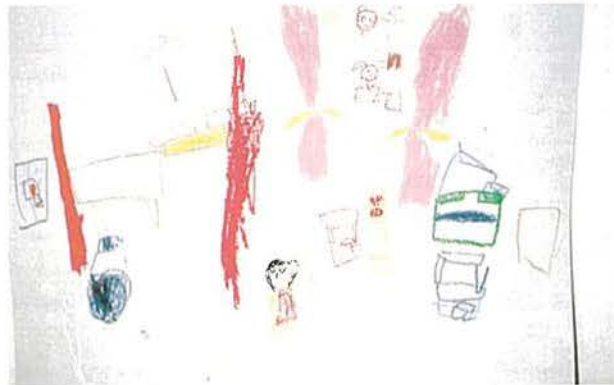
きゆうきゆうしゃがはしってたよ。



タンスがたおれ、へやのかべにあながあいたよ。



みんなねているときに、じしんがやってきたよ。



ずっとたいいくかんにいたの。よるこわいの。



こわかったよ。



しょっきがいっぱいこわれたよ。

4 建築物の被害

(1) 建築物被害の概要

マグニチュード7.2という大規模地震が人口密集地帯である都市の直下におきたために、数多くの建物が被害を受けた。この地震による家屋の倒壊数は全体で約22万8,000棟にも及んだ。

木造家屋では、土をふいて瓦をのせた重い屋根や筋交いが入っていない壁などの、建築後30年以上経過した家屋に被害が多かった。また、ビルの崩壊も相当数あり、築年数の浅いビルでも被害は見られたが、特に新耐震基準施行以前に建てられたビルの被害が多かった。

ビル被害の中で突出しているのは、1階がピロティや店舗・駐車場になっている柱の少ないビルで、1階部分が崩壊したり、持ち出し部分や渡り廊下が落下するなどのことが多かった。

県内各市及び淡路島の被害は次のとおりである。

地域別の倒壊及び焼失家屋数

地 域	倒壊家屋数	焼失家屋数	
神戸市	東 灘 区	19,225	349
	灘 区	18,432	468
	北 区	3,411	1
	中 央 区	12,985	84
	兵 庫 区	17,642	955
	長 田 区	23,803	4,772
	須 磨 区	13,304	416
	垂 水 区	10,066	3
	西 区	3,698	0
計	122,566	7,048	
川 西 市	3,119	0	
伊 丹 市	8,569	1	
尼 崎 市	30,400	8	
宝 塚 市	5,057	2	
西 宮 市	35,800	52	
芦 屋 市	8,604	12	
明 石 市	5,590	0	
淡 路 島	8,701	2	
合 計	228,406	7,125	

倒壊は全壊・半壊の合計、焼失は全焼・半焼の合計

出典：兵庫県 (倒壊家屋数 平成7年11月20日現在)
(焼失家屋数 平成7年12月1日現在)

宝塚市の地区ごとの被害状況は、次頁の表のとおりであった。

(2) 建築物被害実態緊急調査

被災市街地の面的な建築物被災が一律に調査されたものとして、日本都市計画学会関西支部と日本建築学会近畿支部都市計画部会が合同しての、震災復興都市づくり特別委員会による被害実態緊急調査(被災度別建物分布状況)がある。

この調査では、A・B・Cランク(一部損壊・半壊・全壊に相当)別に色分けされた図集が印刷されている。留意事項として、本図集は建築の被害状況の地域的分布の把握を目的とした緊急調査の結果であり、〈被害保証〉などの判定基準としては利用できないとの断りの中で、

第一種地域：西は神戸市須磨区から東は西宮市までの、被害が集中している概ね山麓線以南で埋立地以北の地域

第二種地域：第一種地域に連なる西は明石市、神戸市垂水区、西区、北区、須磨区北部、東は尼崎市、伊丹市、宝塚市、及び淡路島の内、被害が集中している地域

宝塚市は第二種地域と位置付けになっている。(調査期間 1995年2月3日～2月23日)

(巻末附图参照)

(3) 住宅の被害

震災で家屋被害の甚大な地域は、武庫川の左岸地域では、阪急宝塚線及び旧176号線に被害が集中している。地域的に見ると、宮ノ町、川面1丁目、清荒神1丁目～4丁目、売布1丁目～3丁目、星の荘一帯、旧176号線北側の地域で中山寺1・2丁目、さらに今里町から中筋地域にかけてである。

また、右岸地域は、湯本町地域と阪急今津線の小林駅から以南の地域、県道宝塚仁川線添の中野町、大成町及び鹿塩1・2丁目、仁川台、仁川見ガ丘、小仁川添の仁川2丁目地域に被害が集中している。

市内の倒壊家屋解体申込み件数は、別表(45頁)のとおり、4,600件にも及んだ。

宝塚市内における被災世帯数

町名	世帯数	全壊	全壊率	半壊	半壊率	小計	率	一部損壊	一部損壊率	合計	率
小浜1丁目	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
小浜2丁目	502	0	0.0	447	89.0	447	89.0	11	2.2	458	91.2
小浜3丁目	219	6	2.7	34	15.5	40	18.3	61	27.9	101	46.1
小浜4丁目	157	5	3.2	20	12.7	25	15.9	40	25.5	65	41.4
小浜5丁目	390	26	6.7	88	22.6	114	29.2	132	33.8	246	63.1
美座1丁目	9	0	0.0	2	22.2	2	22.2	6	66.7	8	88.9
美座2丁目	179	2	1.1	27	15.1	29	16.2	63	35.2	92	51.4
武庫川町	512	4	0.8	23	4.5	27	5.3	267	52.1	294	57.4
宮の町	236	80	33.9	62	26.3	142	60.2	40	16.9	182	77.1
旭町1丁目	307	31	10.1	81	26.4	112	36.5	101	32.9	213	69.4
旭町2丁目	354	8	2.3	116	32.8	124	35.0	68	19.2	192	54.2
旭町3丁目	359	2	0.6	16	4.5	18	5.0	211	58.8	229	63.8
鶴の荘	375	32	8.5	130	34.7	162	43.2	105	28.0	267	71.2
向月町	295	8	2.7	83	28.1	91	30.8	106	35.9	197	66.8
米谷1丁目	629	32	5.1	101	16.1	133	21.1	232	36.9	365	58.0
米谷2丁目	324	17	5.2	108	33.3	125	38.6	94	29.0	219	67.6
寿町	328	37	11.3	82	25.0	119	36.3	109	33.2	228	69.5
星の荘	707	220	31.1	189	26.7	409	57.9	128	18.1	537	76.0
三笠町	195	29	14.9	30	15.4	59	30.3	41	21.0	100	51.3
泉町	931	52	5.6	149	16.0	201	21.6	189	20.3	390	41.9
弥生町	4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
安倉西1丁目	6	0	0.0	1	16.7	1	16.7	0	0.0	1	16.7
安倉西2丁目	571	5	0.9	16	2.8	21	3.7	164	28.7	185	32.4
安倉西3丁目	286	15	5.2	44	15.4	59	20.6	18	6.3	77	26.9
安倉西4丁目	291	28	9.6	89	30.6	117	40.2	96	33.0	213	73.2
安倉北1丁目	101	0	0.0	8	7.9	8	7.9	47	46.5	55	54.5
安倉北2丁目	285	17	6.0	48	16.8	65	22.8	64	22.5	129	45.3
安倉北3丁目	301	0	0.0	236	78.4	236	78.4	20	6.6	256	85.0
安倉北4丁目	9	4	44.4	5	55.6	9	100.0	0	0.0	9	100.0
安倉北5丁目	25	0	0.0	1	4.0	1	4.0	5	20.0	6	24.0
安倉中1丁目	144	9	6.3	25	17.4	34	23.6	31	21.5	65	45.1
安倉中2丁目	227	44	19.4	31	13.7	75	33.0	48	21.1	123	54.2
安倉中3丁目	199	10	5.0	25	12.6	35	17.6	55	27.6	90	45.2
安倉中4丁目	429	1	0.2	38	8.9	39	9.1	100	23.3	139	32.4
安倉中5丁目	253	0	0.0	5	2.0	5	2.0	70	27.7	75	29.6
安倉中6丁目	148	0	0.0	8	5.4	8	5.4	65	43.9	73	49.3
安倉南1丁目	312	12	3.8	91	29.2	103	33.0	79	25.3	182	58.3
安倉南2丁目	169	19	11.2	30	17.8	49	29.0	52	30.8	101	59.8
安倉南3丁目	564	0	0.0	3	0.5	3	0.5	80	14.2	83	14.7
安倉南4丁目	430	15	3.5	80	18.6	95	22.1	146	34.0	241	56.0
金井町	60	8	13.3	16	26.7	24	40.0	9	15.0	33	55.0
逆瀬川1丁目	614	2	0.3	56	9.1	58	9.4	339	55.2	397	64.7
逆瀬川2丁目	223	16	7.2	37	16.6	53	23.8	77	34.5	130	58.3
千種1丁目	317	29	9.1	89	28.1	118	37.2	81	25.6	199	62.8
千種2丁目	187	61	32.6	38	20.3	99	52.9	50	26.7	149	79.7
千種3丁目	248	23	9.3	54	21.8	77	31.0	94	37.9	171	69.0
千種4丁目	351	4	1.1	46	13.1	50	14.2	94	26.8	144	41.0
社町	98	1	1.0	12	12.2	13	13.3	33	33.7	46	46.9
伊子志1丁目	277	12	4.3	63	22.7	75	27.1	53	19.1	128	46.2
伊子志2丁目	450	2	0.4	48	10.7	50	11.1	115	25.6	165	36.7
伊子志3丁目	597	19	3.2	60	10.1	79	13.2	206	34.5	285	47.7
伊子志4丁目	839	230	27.4	13	1.5	243	29.0	258	30.8	501	59.7
末広町	98	0	0.0	2	2.0	2	2.0	29	29.6	31	31.6
亀井町	967	17	1.8	140	14.5	157	16.2	400	41.4	557	57.6
福井町	690	11	1.6	124	18.0	135	19.6	267	38.7	402	58.3
小林1丁目	415	32	7.7	157	37.8	189	45.5	88	21.2	277	66.7
小林2丁目	499	135	27.1	160	32.1	295	59.1	51	10.2	346	69.3
小林3丁目	382	5	1.3	83	21.7	88	23.0	116	30.4	204	53.4
小林4丁目	606	15	2.5	86	14.2	101	16.7	127	21.0	228	37.6

町名	世帯数	全壊	全壊率	半壊	半壊率	小計	率	一部損壊	一部損壊率	合計	率
小林5丁目	504	49	9.7	129	25.6	178	35.3	95	18.8	273	54.2
光明町	1,005	10	1.0	270	26.9	280	27.9	284	28.3	564	56.1
末成町	827	55	6.7	186	22.5	241	29.1	293	35.4	534	64.6
高松町	592	28	4.7	154	26.0	182	30.7	239	40.4	421	71.1
御所の前町	265	13	4.9	69	26.0	82	30.9	97	36.6	179	67.5
美幸町	177	19	10.7	45	25.4	64	36.2	50	28.2	114	64.4
塔の町	197	34	17.3	67	34.0	101	51.3	30	15.2	131	66.5
谷口町	345	81	23.5	100	29.0	181	52.5	65	18.8	246	71.3
中野町	785	106	13.5	303	38.6	409	52.1	123	15.7	532	67.8
大成町	369	86	23.3	100	27.1	186	50.4	58	15.7	244	66.1
高司1丁目	568	29	5.1	237	41.7	266	46.8	113	19.9	379	66.7
高司2丁目	444	27	6.1	156	35.1	183	41.2	140	31.5	323	72.7
高司3丁目	429	28	6.5	99	23.1	127	29.6	158	36.8	285	66.4
高司4丁目	295	8	2.7	21	7.1	29	9.8	141	47.8	170	57.6
高司5丁目	212	67	31.6	51	24.1	118	55.7	56	26.4	174	82.1
新明和町	118	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
駒の町	10	4	40.0	2	20.0	6	60.0	0	0.0	6	60.0
大吹町	369	37	10.0	78	21.1	115	31.2	92	24.9	207	56.1
鹿塩1丁目	633	91	14.4	127	20.1	218	34.4	209	33.0	427	67.5
鹿塩2丁目	483	41	8.5	94	19.5	135	28.0	131	27.1	266	55.1
仁川台	450	39	8.7	149	33.1	188	41.8	161	35.8	349	77.6
仁川宮西町	132	23	17.4	30	22.7	53	40.2	40	30.3	93	70.5
仁川団地	855	0	0.0	31	3.6	31	3.6	191	22.3	222	26.0
仁川旭ガ丘	235	35	14.9	72	30.6	107	45.5	64	27.2	171	72.8
仁川高丸1丁目	160	0	0.0	4	2.5	4	2.5	61	38.1	65	40.6
仁川高丸2丁目	222	14	6.3	48	21.6	62	27.9	71	32.0	133	59.9
仁川高丸3丁目	164	0	0.0	9	5.5	9	5.5	74	45.1	83	50.6
仁川月見ガ丘	577	126	21.8	156	27.0	282	48.9	121	21.0	403	69.8
仁川高台1丁目	281	0	0.0	16	5.7	16	5.7	88	31.3	104	37.0
仁川高台2丁目	195	4	2.1	43	22.1	47	24.1	44	22.6	91	46.7
仁川北1丁目	293	14	4.8	20	6.8	34	11.6	156	53.2	190	64.8
仁川北2丁目	631	165	26.1	201	31.9	366	58.0	85	13.5	451	71.5
仁川北3丁目	132	17	12.9	18	13.6	35	26.5	47	35.6	82	62.1
仁川うぐいす台	107	0	0.0	25	23.4	25	23.4	53	49.5	78	72.9
湯本町	437	71	16.2	170	38.9	241	55.1	81	18.5	322	73.7
梅野町	389	29	7.5	96	24.7	125	32.1	159	40.9	284	73.0
南口1丁目	400	4	1.0	45	11.3	49	12.3	119	29.8	168	42.0
南口2丁目	660	5	0.8	51	7.7	56	8.5	193	29.2	249	37.7
中州1丁目	544	19	3.5	43	7.9	62	11.4	208	38.2	270	49.6
中州2丁目	304	3	1.0	31	10.2	34	11.2	123	40.5	157	51.6
野上1丁目	440	28	6.4	64	14.5	92	20.9	127	28.9	219	49.8
野上2丁目	191	8	4.2	30	15.7	38	19.9	40	20.9	78	40.8
野上3丁目	430	21	4.9	72	16.7	93	21.6	114	26.5	207	48.1
野上4丁目	481	12	2.5	109	22.7	121	25.2	171	35.6	292	60.7
野上5丁目	247	38	15.4	80	32.4	118	47.8	85	34.4	203	82.2
野上6丁目	914	19	2.1	162	17.7	181	19.8	350	38.3	531	58.1
宝梅1丁目	274	8	2.9	48	17.5	56	20.4	109	39.8	165	60.2
宝梅2丁目	380	14	3.7	102	26.8	116	30.5	132	34.7	248	65.3
宝梅3丁目	115	11	9.6	23	20.0	34	29.6	43	37.4	77	67.0
宝松苑	372	19	5.1	48	12.9	67	18.0	143	38.4	210	56.5
寿楽荘	333	9	2.7	44	13.2	53	15.9	121	36.3	174	52.3
武庫山1丁目	272	12	4.4	75	27.6	87	32.0	86	31.6	173	63.6
武庫山2丁目	275	20	7.3	99	36.0	119	43.3	95	34.5	214	77.8
紅葉ガ丘	116	27	23.3	48	41.4	75	64.7	25	21.6	100	86.2
月見山1丁目	313	31	9.9	64	20.4	95	30.4	107	34.2	202	64.5
月見山2丁目	264	9	3.4	61	23.1	70	26.5	124	47.0	194	73.5
長寿ガ丘	207	18	8.7	75	36.2	93	44.9	68	32.9	161	77.8
光ガ丘1丁目	372	8	2.2	82	22.0	90	24.2	169	45.4	259	69.6
光ガ丘2丁目	166	0	0.0	13	7.8	13	7.8	87	52.4	100	60.2
青葉台1丁目	339	2	0.6	23	6.8	25	7.4	112	33.0	137	40.4

町名	世帯数	全壊	全壊率	半壊	半壊率	小計	率	一部損壊	一部損壊率	合計	率
青葉台2丁目	206	16	7.8	32	15.5	48	23.3	99	48.1	147	71.4
逆瀬台1丁目	1,177	1	0.1	523	44.4	524	44.5	553	47.0	1,077	91.5
逆瀬台2丁目	217	13	6.0	172	79.3	185	85.3	24	11.1	209	96.3
逆瀬台3丁目	183	8	4.4	53	29.0	61	33.3	96	52.5	157	85.8
逆瀬台4丁目	188	13	6.9	62	33.0	75	39.9	82	43.6	157	83.5
逆瀬台5丁目	339	15	4.4	78	23.0	93	27.4	152	44.8	245	72.3
逆瀬台6丁目	207	4	1.9	20	9.7	24	11.6	121	58.5	145	70.0
ゆずり葉台2丁目	76	1	1.3	13	17.1	14	18.4	34	44.7	48	63.2
ゆずり葉台3丁目	271	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
桜ガ丘	353	8	2.3	70	19.8	78	22.1	116	32.9	194	55.0
御殿山1丁目	3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
御殿山2丁目	633	60	9.5	152	24.0	212	33.5	209	33.0	421	66.5
御殿山3丁目	260	11	4.2	46	17.7	57	21.9	76	29.2	133	51.2
御殿山4丁目	356	0	0.0	7	2.0	7	2.0	87	24.4	94	26.4
川面1丁目	122	53	43.4	43	35.2	96	78.7	11	9.0	107	87.7
川面2丁目	73	20	27.4	28	38.4	48	65.8	13	17.8	61	83.6
川面3丁目	373	138	37.0	88	23.6	226	60.6	65	17.4	291	78.0
川面4丁目	271	48	17.7	128	47.2	176	64.9	36	13.3	212	78.2
川面5丁目	565	38	6.7	94	16.6	132	23.4	223	39.5	355	62.8
川面6丁目	492	31	6.3	92	18.7	123	25.0	126	25.6	249	50.6
栄町1丁目	148	69	46.6	17	11.5	86	58.1	23	15.5	109	73.6
栄町2丁目	235	5	2.1	152	64.7	157	66.8	62	26.4	219	93.2
栄町3丁目	260	3	1.2	32	12.3	35	13.5	90	34.6	125	48.1
清荒神1丁目	475	70	14.7	247	52.0	317	66.7	56	11.8	373	78.5
清荒神2丁目	372	112	30.1	176	47.3	288	77.4	48	12.9	336	90.3
清荒神3丁目	238	57	23.9	108	45.4	165	69.3	35	14.7	200	84.0
清荒神4丁目	230	49	21.3	79	34.3	128	55.7	66	28.7	194	84.3
清荒神5丁目	67	0	0.0	7	10.4	7	10.4	20	29.9	27	40.3
売布1丁目	344	79	23.0	114	33.1	193	56.1	83	24.1	276	80.2
売布2丁目	328	115	35.1	61	18.6	176	53.7	66	20.1	242	73.8
売布3丁目	312	85	27.2	116	37.2	201	64.4	47	15.1	248	79.5
売布4丁目	258	45	17.4	50	19.4	95	36.8	75	29.1	170	65.9
売布ガ丘	219	4	1.8	29	13.2	33	15.1	47	21.5	80	36.5
泉ガ丘	297	5	1.7	20	6.7	25	8.4	133	44.8	158	53.2
売布東の町	454	238	52.4	118	26.0	356	78.4	43	9.5	399	87.9
中山寺1丁目	271	125	46.1	61	22.5	186	68.6	46	17.0	232	85.6
中山寺2丁目	116	32	27.6	25	21.6	57	49.1	15	12.9	72	62.1
中山寺3丁目	267	47	17.6	55	20.6	102	38.2	82	30.7	184	68.9
中山荘園	115	9	7.8	18	15.7	27	23.5	28	24.3	55	47.8
売布きよしガ丘	231	5	2.2	32	13.9	37	16.0	83	35.9	120	51.9
売布山手町	96	0	0.0	4	4.2	4	4.2	29	30.2	33	34.4
すみれガ丘1丁目	450	0	0.0	440	97.8	440	97.8	0	0.0	440	97.8
すみれガ丘2丁目	632	0	0.0	539	85.3	539	85.3	69	10.9	608	96.2
すみれガ丘3丁目	629	0	0.0	448	71.2	448	71.2	146	23.2	594	94.4
中筋山手1丁目	149	8	5.4	29	19.5	37	24.8	44	29.5	81	54.4
中筋山手2丁目	183	9	4.9	12	6.6	21	11.5	58	31.7	79	43.2
中筋山手3丁目	158	6	3.8	19	12.0	25	15.8	35	22.2	60	38.0
中筋山手4丁目	131	0	0.0	11	8.4	11	8.4	35	26.7	46	35.1
中山台1丁目	347	0	0.0	12	3.5	12	3.5	111	32.0	123	35.4
中山台2丁目	225	2	0.9	7	3.1	9	4.0	64	28.4	73	32.4
山本西1丁目	84	1	1.2	6	7.1	7	8.3	21	25.0	28	33.3
山本西2丁目	165	96	58.2	8	4.8	104	63.0	13	7.9	117	70.9
山本西3丁目	157	29	18.5	63	40.1	92	58.6	24	15.3	116	73.9
山本中1丁目	195	8	4.1	12	6.2	20	10.3	48	24.6	68	34.9
山本中2丁目	285	109	38.2	25	8.8	134	47.0	40	14.0	174	61.1
山本中3丁目	151	21	13.9	30	19.9	51	33.8	52	34.4	103	68.2
山本台1丁目	188	0	0.0	10	5.3	10	5.3	53	28.2	63	33.5
山本台2丁目	165	0	0.0	3	1.8	3	1.8	33	20.0	36	21.8
山本台3丁目	197	1	0.5	8	4.1	9	4.6	67	34.0	76	38.6
山本東1丁目	132	1	0.8	17	12.9	18	13.6	24	18.2	42	31.8

町名	世帯数	全壊	全壊率	半壊	半壊率	小計	率	一部損壊	一部損壊率	合計	率
山本東2丁目	87	34	39.1	8	9.2	42	48.3	20	23.0	62	71.3
山本東3丁目	73	27	37.0	12	16.4	39	53.4	15	20.5	54	74.0
平井1丁目	343	0	0.0	11	3.2	11	3.2	37	10.8	48	14.0
平井2丁目	360	17	4.7	49	13.6	66	18.3	52	14.4	118	32.8
平井3丁目	268	1	0.4	15	5.6	16	6.0	16	6.0	32	11.9
平井4丁目	17	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	29.4	5	29.4
平井5丁目	172	11	6.4	13	7.6	24	14.0	31	18.0	55	32.0
平井6丁目	29	0	0.0	4	13.8	4	13.8	5	17.2	9	31.0
平井7丁目	11	0	0.0	4	36.4	4	36.4	4	36.4	8	72.7
平井山荘	334	0	0.0	3	0.9	3	0.9	42	12.6	45	13.5
雲雀丘1丁目	231	1	0.4	2	0.9	3	1.3	13	5.6	16	6.9
雲雀丘2丁目	274	0	0.0	0	0.0	0	0.0	21	7.7	21	7.7
雲雀丘3丁目	218	0	0.0	7	3.2	7	3.2	25	11.5	32	14.7
雲雀丘4丁目	21	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	9.5	2	9.5
雲雀丘山手1丁目	256	2	0.8	6	2.3	8	3.1	51	19.9	59	23.0
雲雀丘山手2丁目	248	0	0.0	2	0.8	2	0.8	43	17.3	45	18.1
花屋敷つつじガ丘	256	0	0.0	5	2.0	5	2.0	50	19.5	55	21.5
花屋敷荘園1丁目	239	0	0.0	21	8.8	21	8.8	44	18.4	65	27.2
花屋敷荘園2丁目	114	0	0.0	1	0.9	1	0.9	29	25.4	30	26.3
花屋敷荘園3丁目	241	0	0.0	5	2.1	5	2.1	38	15.8	43	17.8
花屋敷荘園4丁目	324	0	0.0	1	0.3	1	0.3	21	6.5	22	6.8
花屋敷松ガ丘	289	0	0.0	8	2.8	8	2.8	73	25.3	81	28.0
長尾台1丁目	205	0	0.0	5	2.4	5	2.4	50	24.4	55	26.8
長尾台2丁目	96	1	1.0	2	2.1	3	3.1	14	14.6	17	17.7
ふじガ丘	156	0	0.0	0	0.0	0	0.0	19	12.2	19	12.2
中山桜台1丁目	52	0	0.0	0	0.0	0	0.0	14	26.9	14	26.9
中山桜台2丁目	329	0	0.0	0	0.0	0	0.0	70	21.3	70	21.3
中山桜台3丁目	127	0	0.0	2	1.6	2	1.6	28	22.0	30	23.6
中山桜台4丁目	248	0	0.0	0	0.0	0	0.0	51	20.6	51	20.6
中山桜台5丁目	255	0	0.0	0	0.0	0	0.0	141	55.3	141	55.3
中山桜台6丁目	931	0	0.0	2	0.2	2	0.2	703	75.5	705	75.7
中山桜台7丁目	57	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	8.8	5	8.8
中山五月台1丁目	138	0	0.0	2	1.4	2	1.4	44	31.9	46	33.3
中山五月台2丁目	183	0	0.0	1	0.5	1	0.5	29	15.8	30	16.4
中山五月台3丁目	320	0	0.0	0	0.0	0	0.0	49	15.3	49	15.3
中山五月台4丁目	247	0	0.0	0	0.0	0	0.0	27	10.9	27	10.9
中山五月台5丁目	635	1	0.2	0	0.0	1	0.2	38	6.0	39	6.1
中山五月台6丁目	787	0	0.0	0	0.0	0	0.0	61	7.8	61	7.8
中山五月台7丁目	516	0	0.0	1	0.2	1	0.2	219	42.4	220	42.6
山手台西2丁目	104	0	0.0	0	0.0	0	0.0	12	11.5	12	11.5
山手台東1丁目	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
今里町	253	49	19.4	38	15.0	87	34.4	54	21.3	141	55.7
中筋1丁目	221	35	15.8	48	21.7	83	37.6	55	24.9	138	62.4
中筋2丁目	138	25	18.1	33	23.9	58	42.0	29	21.0	87	63.0
中筋3丁目	62	6	9.7	0	0.0	6	9.7	32	51.6	38	61.3
中筋4丁目	82	41	50.0	16	19.5	57	69.5	9	11.0	66	80.5
中筋5丁目	34	1	2.9	10	29.4	11	32.4	10	29.4	21	61.8
中筋6丁目	85	15	17.6	18	21.2	33	38.8	17	20.0	50	58.8
中筋7丁目	80	6	7.5	3	3.8	9	11.3	12	15.0	21	26.3
中筋8丁目	151	5	3.3	45	29.8	50	33.1	45	29.8	95	62.9
中筋9丁目	265	4	1.5	102	38.5	106	40.0	57	21.5	163	61.5
長尾町	193	1	0.5	118	61.1	119	61.7	48	24.9	167	86.5
山本南1丁目	401	7	1.7	46	11.5	53	13.2	143	35.7	196	48.9
山本南2丁目	82	1	1.2	10	12.2	11	13.4	13	15.9	24	29.3
山本南3丁目	276	62	22.5	50	18.1	112	40.6	102	37.0	214	77.5
山本丸橋1丁目	193	14	7.3	11	5.7	25	13.0	33	17.1	58	30.1
山本丸橋2丁目	522	4	0.8	15	2.9	19	3.6	56	10.7	75	14.4
山本丸橋3丁目	20	0	0.0	0	0.0	0	0.0	8	40.0	8	40.0
山本丸橋4丁目	306	0	0.0	2	0.7	2	0.7	16	5.2	18	5.9
口谷西1丁目	18	0	0.0	1	5.6	1	5.6	4	22.2	5	27.8

町名	世帯数	全壊	全壊率	半壊	半壊率	小計	率	一部損壊	一部損壊率	合計	率
口谷西2丁目	79	4	5.1	17	21.5	21	26.6	19	24.1	40	50.6
口谷西3丁目	297	1	0.3	7	2.4	8	2.7	119	40.1	127	42.8
口谷東1丁目	427	93	21.8	82	19.2	175	41.0	109	25.5	284	66.5
口谷東2丁目	68	4	5.9	27	39.7	31	45.6	22	32.4	53	77.9
口谷東3丁目	320	0	0.0	2	0.6	2	0.6	41	12.8	43	13.4
南ひばりガ丘1丁目	328	36	11.0	76	23.2	112	34.1	81	24.7	193	58.8
南ひばりガ丘2丁目	173	0	0.0	11	6.4	11	6.4	56	32.4	67	38.7
南ひばりガ丘3丁目	312	12	3.8	78	25.0	90	28.8	93	29.8	183	58.7
山本野里1丁目	591	0	0.0	5	0.8	5	0.8	85	14.4	90	15.2
山本野里2丁目	224	2	0.9	20	8.9	22	9.8	61	27.2	83	37.1
山本野里3丁目	749	0	0.0	0	0.0	0	0.0	503	67.2	503	67.2
北部	984	0	0.0	6	0.6	6	0.6	52	5.3	58	5.9
切畑字長尾山	66	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	3.0	2	3.0
その他	175	2	1.1	3	1.7	5	2.9	19	10.9	24	13.7
武庫川右岸計	33,018	2,380	7.2	7,089	21.5	9,469	28.7	10,460	31.7	19,929	60.4
武庫川左岸計	43,247	3,155	7.3	7,648	17.7	10,803	25.0	10,445	24.2	21,248	49.1
総計	76,265	5,535	7.3	14,737	19.3	20,272	26.6	20,905	27.4	41,177	54.0

町別倒壊家屋解体申し込み数（平成8年4月現在）

所在地	件数	未成町	40	寿楽荘	12	山本東	69
小浜	63	高松町	44	武庫山	52	平井	42
美座	9	御所の前町	19	紅葉ガ丘	23	雲雀丘	1
武庫川町	6	美幸町	13	月見山	40	雲雀丘山手	3
宮の町	92	塔の町	20	長寿ガ丘	17	花屋敷つつじガ丘	2
旭町	68	谷口町	49	光ガ丘	11	花屋敷荘園	5
鶴の荘	22	中野町	96	青葉台	20	長尾台	3
向月町	18	大成町	49	逆瀬台	55	今里町	41
米谷	95	高司	114	ゆずり菜台	1	中筋	153
寿町	24	駒の町	1	桜ガ丘	17	長尾町	1
星の荘	157	大吹町	31	御殿山	80	山本南	14
三笠町	19	鹿塩	105	川面	347	山本丸橋	21
泉町	34	仁川台	39	栄町	64	口谷西	6
安倉西	50	仁川宮西町	15	清荒神	311	口谷東	18
安倉北	24	仁川旭ガ丘	21	売布	261	南ひばりガ丘	51
安倉中	55	仁川高丸	19	売布ガ丘	4	山本野里	12
安倉南	46	仁川月見ガ丘	69	泉ガ丘	7	長谷字北畑ケ	1
金井町	5	仁川高台	12	売布東の町	83	大原野字南穴虫	1
逆瀬町	28	仁川北	111	中山寺	148	伊子志字武庫山	2
千種	102	仁川うぐいす台	5	中山荘園	9	川面字長尾山	2
社町	3	湯本町	50	売布きよしガ丘	7	合計	4600
伊子志	42	梅野町	16	売布山手町	1		
未広町	1	南口	24	中筋山手	30		
亀井町	18	中州	19	中山台	3		
福井町	23	野上	139	山本西	49		
小林	183	宝梅	52	山本中	103		
光明町	14	宝松苑	21	山本台	3		

(4) マンションの被害状況

次のように15万戸を越す被害状況となった。

阪神大震災による分譲マンション被害調査の結果（1995年12月時点）

		大被害	中被害	小被害	無被害	総計	
西宮市	物件	20	24	71	312	427	
	戸数	1,529	1,926	4,049	13,642 : 1	21,146 : 1	
芦屋市	物件	19	21	36	148	224	
	戸数	1,298	1,653	2,644 : 1	6,242 : 1	11,837 : 2	
神戸市	東灘区	物件	31	47	136	287	501
		戸数	2,131	2,686 : 3	5,446	11,127 : 6	21,390 : 9
	灘区	物件	15	25	46	174	260
		戸数	942	1,272	1,398	5,473 : 3	9,085 : 3
	中央区	物件	9	21	46	137	213
		戸数	515	1,477 : 2	2,936 : 5	7,474 : 2	12,402 : 9
	兵庫区	物件	7	18	56	54	135
		戸数	720	1,407 : 1	2,718	1,926 : 4	6,771 : 5
	長田区	物件	4	9	33	53	99
		戸数	312	469	1,854	1,930 : 1	4,565 : 1
	須磨区	物件	6	10	24	111	151
		戸数	159	365 : 1	1,494	13,024 : 4	15,042 : 5
	垂水区	物件	1	1	18	142	162
		戸数	30	109	1,187	9,076 : 2	10,402 : 2
	北区	物件	—	1	—	—	1
		戸数	—	41	—	—	41
	宝塚市	物件	4	6	26	191	227
		戸数	210	510 : 1	2,478 : 1	13,145	16,343 : 2
尼崎市	物件	3	1	17	208	229	
	戸数	103	203	2,276	10,226	12,808	
伊丹市	物件	1	4	17	100	122	
	戸数	32	786	1,878	5,899	8,595	
明石市	物件	0	1	18	144	163	
	戸数	0	12	2,020	—	2,032	
大阪市	物件	1	—	—	—	1	
	戸数	58	—	—	—	58	
豊中市	物件	1	—	—	—	1	
	戸数	114	—	—	—	114	
物件合計		122	189	544	2,061	2,916	
戸数合計		8,153	12,916	32,378	99,184	152,631	
戸数不明物件数		0	8	7	24	39	

注：は、戸数が不明な物件数を表している。

- ① 大被害…建物の全体もしくは、一部が構造材の破壊、損傷を受けたり、明白な傾きをなし、建物の建替え、若しくは大規模補強・補修を必要とするもの。
- ② 中被害…構造材以外の壁などの損傷が見られ、大幅な修理が必要なもの（構造材の損傷は軽微）。
- ③ 小被害…壁の小さいび割れや外傷、設備部分の損傷など比較的軽い損傷で修理が必要なもの。

資料：阪神大震災マンション復興問題特別研究委員会（事務局：大阪府立大学生活科学部 梶浦恒男研究室）提供

5 地盤の被害

震災後、山地災害の実態把握のため、国・県・市がそれぞれ地形についての調査を実施した。調査内容は次のとおりである。

(1) 崖くずれ・地すべりの状況

① 建設省近畿地方建設局

「兵庫県南部地震に伴う土石流危険渓流緊急調査業務」

調査期間

平成7年2月6日～5月31日

調査区域

六甲山系全域

調査メンバー

(財)砂防地すべり技術センター

調査・検討方法

崩壊地判読に使用するために撮影された航空写真（1万分の1）と、平成3年に撮影された航空写真を判読し比較することにより、新規崩壊地の抽出を行い、1万分の1地形図に整理した。

また、六甲山系における土石流危険渓流350渓流の概査により発生危険度の高い渓流を抽出し、さらにそれらの渓流を精査し土砂流出の危険のある土砂量を算出した。

検討結果

調査結果により、以下のとおり対策が決定した。

- ・堰堤工 19カ所
- ・山腹工 2カ所
- ・除石工 12カ所
- ・施設災害復旧工 10カ所
- ・ワイヤーセンサー設置
16カ所（宝塚市内1カ所）
- ・伸縮計設置 4カ所

② 建設省・兵庫県砂防課

「兵庫県南部地震地すべり等緊急支援チーム」の危険箇所調査

調査期間

平成7年1月22日（日）～27日（金）

調査区域

神戸市（西区は除く、北区は一部区域）、芦屋市全域、西宮市全域、宝塚市全域、淡路島全域

調査対象

地滑り危険箇所、急傾斜地崩壊危険箇所、土石流危険渓流の1,101カ所

調査結果

周辺の崩壊や亀裂、湧水の有無、人家との関係等により緊急度に応じてA、B、Cの3ランクに区分した。

危険度判定基準は表のとおりである。

緊急度（危険度）判定基準

段階	緊急度（危険度）判定基準
Aランク	崩壊・地すべりが発生しており、保全対象が被災しているか、今後、被災する可能性がある箇所。大規模な亀裂等が発生しており、早急な対策を施さなければ、早晚崩壊・地すべりが発生する可能性がある箇所。 擁壁・法枠工等の防災施設に壊滅的な破壊が見られ、保全対象へ被害をもたらす恐れのあるもの。
Bランク	亀裂等が発生しており、早晚崩壊・地すべりが発生する可能性があるが、当面保全対象物に被害をもたらす恐れが少ない箇所。 擁壁・法枠工等の防災施設に異常が見られるが、現時点では壊滅的なダメージがなく、保全対象に被害を及ぼす恐れのない箇所。
Cランク	現時点では異常が確認できない箇所。 亀裂等の変状が確認されても軽微であり、早晚崩壊・地すべりが発生する可能性が少ない箇所。

結果は、以下のとおりである。

- Aランク 71カ所
- Bランク 127カ所
- Cランク 903カ所
- 計 1,101カ所

③ 兵庫県六甲治山事務所ほか「兵庫県南部地震森林防災緊急パトロール」による山地災害の実態調査

調査期間

平成7年1月25日（水）～27日（金）

調査区域

神戸市、西宮市、芦屋市、宝塚市の六甲山系山麓部分
淡路島北部の裏山

調査メンバー

林野庁治山課、大阪営林局、岡山県、徳島県及び県内各農林事務所等の林業関係職員延べ41班94名

調査結果

震災に係る山地被害箇所54カ所について、崩壊の規模危険性等の調査

④ 「兵庫県南部地震技術調査団」による調査
調査期間

平成7年1月25日(水)～27日(金)

平成7年3月8日(水)～10日(金)

調査箇所

宝塚市、西宮市、芦屋市、神戸市市街地沿いの六甲山地

南面の東西30kmの山麓部 面積 5,723ha

調査団メンバー

東京大学名誉教授 山口伊佐夫

防衛大学校教授 中村 三郎

三重大学助教授 川辺 洋

森林総合研究所水土保持科長 梁瀬 秀雄

林業土木コンサルタンツ付属研究所長

秋谷 孝一

調査結果

・六甲山系の調査対象地域を48の地区に区分し、荒廃地の現況調査(宝塚市No3～No5)結果は表(1)のとおりである。(表、略)

・警戒基準雨量、余震震度の検討(連続雨量20mm、震度3以上)

⑤ ヘリコプターによる山地災害の調査

調査目的

ヘリコプターによる空中探査により地中の岩盤風化や亀裂など表面に現れず、目視によって、確認することのできない危険箇所を把握する。

調査期間

平成7年度～平成8年度

第1次調査(宝塚市の山麓部)

期間 平成7年7月28日～12月25日

(内ヘリコプター飛行8月5日～8日)

調査区域

六甲山系と淡路北部地域の市街地に隣接する山麓部(16,700ha)

調査内容

・γ線探査(地割れ調査)

地面の割れ目(表面に現れていないものも含む)はγ線の放出量が多いことからγ線探査でクラック(割れ目)の有無を調査する。(平成7年8月5・6日)

・磁気探査(地質構造調査)

岩石の持つ磁性は造山運動や断層等の動きにより異常が発生するため、磁気を測定することで地質構造を解析する。(平成7年8月7・8日)

・電磁探査(岩盤の風化、変質及び地下水の状況調査)

ヘリコプターから電磁波を発生し、地下に発生する渦電流の強さを測定することで岩盤の風化度、変質帯、地下水の状況を調べる。(平成7年8月7・8日)

(2) 山崖くずれの被害

山崖・斜面地の崩壊は、南部市街地の、特に六甲山系に集中し、顕著な崩壊は30カ所で、特に人家に近接した危険な崩壊が発生した区域は、ゆずり葉台地区、逆瀬台地区、紅葉ガ丘地区、月見山地区、長寿ガ丘地区であった。

「ゆずり葉台」

ゆずり葉台1丁目～2丁目8番街区の山腹に亀裂が多く発生、斜面崩壊落石が多発した。住民や、家屋に直接被害はなかったが、余震などで、二次災害の土砂崩れが起きる可能性があるため、自主的に避難した。

「逆瀬台」

白瀬川上流部より、青葉台2丁目の山腹にかけて斜面崩壊が発生。白瀬川上流部は、崩土が谷底まで達しており、今後の降雨により土石流の発生が危惧された。

「紅葉ガ丘地区」

急傾斜地崩壊危険区域に指定されている、紅葉ガ丘5番街区においては、人家の下部の斜面が崩壊し、人家が危険な状況になっている。小規模な落石や、土砂の崩落が続いており、周辺家屋の倒壊も多く、住民のほとんどが避難した。

「月見山地区」

急傾斜地崩壊危険区域に指定されている月見山1丁目地区で、斜面崩壊等が発生した。さらに、北側に隣接する道路の法面にも崩壊が多数発生するなど、二次災害の発生が危惧された。

「長寿ガ丘地区」

観音谷川の斜面より、上流部に塩尾寺直下の山腹斜面まで大規模な崩壊が多数発生。特に隣接した西宮市においては、崩壊による犠牲者が出た。宝塚市

側においては、人家の下部が崩壊し、家屋損傷を伴う崩壊が発生したが、住民は避難しており人的な被害はなかった。しかし、今後の大雨による土石流の発生が危惧された。

(3) 宅地の被害

宅地の擁壁に崩壊亀裂等が生じたため、宅地造成等規制法に基づき兵庫県から防災措置の勧告及び通知を出した件数は、平成7年5月31日現在、勧告248件、通知235件、合計483件であった。

6 土木関係施設の被害

(1) 道路・橋梁の概要

中国縦貫自動車道が市内を横断し、国道176号が川西、池田、宝塚歌劇場前を通過し、丹波・但馬地方につながっている。また、県道は塩瀬門戸荘線外19路線、5万4,817m、市道は3,468路線77万4,301mの道路網となっている。

一方、橋梁については、国が管理する8橋梁213m、県が管理する55橋梁1,023m、市が管理する397橋梁3,407m、及び中国自動車道の8橋梁1,901mが架かっている。

(2) 宝塚市域における幹線道路と市道等の被害

国道176号——小浜高架橋の上部工と下部工のジョイントにズレが生じた。

また、舗装及び中央分離帯についても被害が生じた。

(応急復旧完了1月21日)

旧国道176号——中山寺の勅使川橋の上下部工が損傷した。

また、歩道橋、石積み、舗装について被害が生じた。

(応急復旧完了3月10日)

県道塩瀬門戸荘線——長寿ガ丘～湯本町間で道路法面が崩壊した。(応急復旧完了9月27日)

中国縦貫自動車道——売布付近の阪急宝塚線とJR福知山線の高架を中心に数カ所で被害が出た。

宝塚高架橋(本市売布3丁目)は、片側3車線の橋桁を74基の橋脚で支えていたが、うち、約50基に亀裂が入り特に西寄りの6基の橋脚は真ん中の部分でせん断破壊し、斜めに割れてずれた。

また、すべてのローラーが脱落した橋脚上では路面の沈下が認められた。(応急復旧完了1月27日)

被災状況は、市道では、道路、橋梁本体が被害を受けたものが876件となり(別表1)のとおりである。

また、道路本体ではなく、沿道の建築物、構造物が崩壊し、通行に支障をきたした。別表2表の影響により、通行止めを行ったところは当初114カ所であった。

表1 道路・橋梁本体の被害状況

種 類	件 数
橋 梁	13
歩 道 橋	2
道 路 の 陥 没	180
舗 装 の ク ラ ッ ク	547
道 路 法 面 の 崩 壊	54
そ の 他	80
計	876

表2 沿道の建築物の損壊による道路への障害

種 類	件 数
家 屋 の 倒 壊	169
ブ ロ ッ ク 塀 等 の 倒 壊	545
石 積 の 崩 壊	161
電 柱 の 倒 壊	32
土 砂 の 流 入	12
そ の 他	205
計	1,124

(3) 河川の被害

阪神大震災で被災した河川は、宝塚南部市街地に集中している。この地域には県管理の14の法定河川(1・2級河川)及び砂防河川と市管理の普通河川がある。

今回被災した河川は、法定河川で11河川、被災延長2092m、砂防河川は1河川、被災延長335.7m、普通河川では4河川、被災延長102.6mであり、全体で16河川、被災延長2,530.3m、被害額は約5億8,000万円となっている。

これらの河川の被災程度は、ごく部分的な被災から、全川にわたる被災など、地域、地形、護岸の構造などにより異なっているが、被災河川はほぼ南部地域全域にわたっている。

各河川の被災のほとんどは、地震の震動による護岸の崩壊であり、人家の密集地に多く発生している。また、砂防河川等には堰堤や落差工の破損が一部見受けられる。なお、市管理の普通河川は、すべて護岸の崩壊である。

ア 1級河川の被害状況

1級河川の被害状況

河川名	箇所数	被害延長(m)
最明寺川	2	50

2級河川

河川名	箇所数	被害延長(m)
武庫川	4	199.4
小仁川	3	519.5
支多々川	1	23.7
一後川	2	45.0
荒神川	2	20.3
天王寺川	1	14.0
大掘川	2	282.7
足洗川	2	396.0
勅使川	2	265.4
天神川	4	276.0
計 10河川	23	2,042

県管理の法定河川で、11河川、25カ所、総被災延長2,092mとなっている。

被害額は約4億8,900万円と見込まれる。

(事業主体は兵庫県西宮土木事務所)

(4) 公園の被害

市内には、近隣公園や運動公園、都市緑地など計207カ所の公園があり、これらは、「宝塚らしさ」を加味し、まち並み全体として調和のとれた花と緑による、爽やかなまち並み景観を醸しだしている。

これらの公園の被災状況は、逆瀬台4丁目公園、

売布きよしガ丘中央公園等都市公園58カ所で地盤の亀裂、擁壁の亀裂等の被害を受けた。そのうち、被害の大きかった逆瀬台4丁目公園、売布きよしガ丘中央公園等10カ所については、復旧工事が長期にわたるため閉鎖した。

① 都市公園整備状況 (平成6年度～7年度)

公園面積 ha	街区公園		近隣公園	地区公園	運動公園	風致公園	都市緑地	合計
	1,000㎡未満	1,000㎡以上						
75.11	115	76	7	2	1	1	5	207

被害の少なかった公園については、公園内に被災した人たちのための仮設住宅を建築し、提供した。

② 公園の仮設住宅利用状況

公園名(仮設住宅名)	仮設戸数	公園名(仮設住宅名)	仮設戸数
安倉上ノ池公園	30	安倉南第4公園	12
平井公園	44	すみれガ丘中央公園	70
中山中央公園	98	美幸公園	9
中山五月台公園	54	御殿山公園	8
安倉下ノ池公園	60	光明第4公園 (ケア・サービス付き)	18
高松第2公園	12		
すみれガ丘北公園	25	中山桜台公園	32
安倉南第3公園	12	仮設住宅計	484

(5) ため池等の被害

市内には、市が掌握しているため池が611カ所あり、内、西谷地域に、570カ所がある。市街地南部に41カ所(内、区有財産のため池28、個人13)あり、被災はこの南部に集中している。

ため池の堤体を道路等公共施設で使用している池及び、堤体が民有擁壁を兼ねた池を除けば、被害を受けた池は、12ヶ所である(次頁の表参考)。

7 事業所等の被害

(1) 商工業・サービス業の被害

市内の商店街・小売市場等において多数の店舗が被災したが、特に、仁川、花のみち周辺、鶴の荘、清荒神、売布の各地区における被害が甚大であった。商工課が把握している市内商業団体に加盟の全店舗数は1,240店であるが、そのうちの175店(約14%)が全壊若しくは半壊という状況であった。なかでも、

ため池の被害状況

ため池名称	所在地	管理者	被害状況
山田池	平井2丁目330	平井水利組合	堤体法尻より少量の漏水あり L=21m
山本新池	山本東3丁目65	山本水利組合	堤体全体にいたりクラック有り L=168m 取水施設3ヶ所損壊
沢池	山本東2丁目29	山本水利組合	南側堤体クラック、陥没、張りブロックずれ有りL=30m 桶管2ヶ所損壊
八幡池	中筋3丁目101	中筋水利組合	堤体クラック 制波ブロック損壊 L=160m 桶管2ヶ所損壊
皿池	中筋3丁目61-1	中筋水利組合	堤体全体にクラック有り L=220m 制波ブロック損壊 L=100m
谷池	川面4丁目130	安場水利組合	堤体前法すべり、クラック有り L=31m ウテ樋まわりクラック、陥没
広沢池	御殿山3丁目5-1	川面広沢水利組合	堤体一部クラックL=10m 余水吐まわりクラック
淵池 (西池舎)	山本西2丁目27	山本水利組合	張・損ブロッククラック L=112m 取水施設の斜桶沈下
中筋新池	中筋山手3丁目120	中筋水利組合	堤体一部クラック L=10m 桶管損壊
社町皿池 (上池舎)	社町4	大和銀行	堤体クラック L=40m

小売市場においては全体の約34%が全・半壊と、被害が大きかった。

一方、工業では、製造業において、かなりの企業の施設が全・半壊の被害を受けた。

震災による被害額は、市商工会が、加盟の2,700会員を対象にアンケート方式により実施した調査によれば、直接・間接被害額の合計は1.063億円を超える結果となっている。なお、これは回収率36%の数値であり、また、加盟以外のところを加えると全体の被害額は相当増大するものと推測される。

① 商店街等の兵庫県南部地震による被害状況報告書 (平成7年1月25日現在)

☆商店街等の全体を外観しての判断

- (判断基準)・全壊 =80%以上が崩壊、破損等して再建を要するもの。
 ・半壊 =40%以上80%未満が崩壊、破損等して再建を要するもの。
 ・一部損壊=5%以上40%未満が崩壊、

破損等して再建を要するもの。

- ・被害なし=5%以下。

	団体名	構成員数	被害状況
武庫川右岸地区	仁川商工協和会	72	全壊
	ビザス小林商店会	64	半壊
	小林東商店会	49	被害なし
	福井商店会	6	被害なし
	武庫川商店会	9	被害なし
	アピア南名店会	6	被害なし
	アピア名店会	140	被害なし
	アピア3店舗会	36	被害なし
	アピアきた名店会	22	被害なし
	逆瀬川駅山手振興会	17	被害なし
	サンビオラ商業協同組合	125	被害なし
宝南ショップス名店会	16	被害なし	

武庫川左岸地区	宝塚武庫川町商店会	2	一部損壊
	花のみち宝塚市場	10	全 壊
	花のみちプラザ商店会	9	一部損壊
	宝塚花のみち商店会	21	全 壊
	ソリオ宝塚名店会	79	被害なし
	ソリオきたユニバーサル名店会	28	被害なし
	ソリオきた山手商店会	41	一部損壊
	川面商店会	3	半 壊
	清荒神参道商店会	115	半 壊
	清荒神市場	30	半 壊
	太平市場事業協同組合	27	半 壊
	小浜商店会	6	一部損壊
	安倉商工連合会	60	被害なし
	宝塚ショッピングセンター	8	被害なし
	協同組合東宝ショッピングセンター	20	一部損壊
	売布市場	6	全 壊
	阪急ショッピングセンター	13	半 壊
	売布駅前商店会	26	一部損壊
	売布メゾンドムールテナント会	13	一部損壊
	中山寺商店会	25	一部損壊
	中山台ファミリーセンター	31	被害なし
	長尾商工振興会	30	一部損壊
	山本センター	5	一部損壊
雲雀丘花屋敷駅前商店会	10	被害なし	

② 被害状況調査の結果

- 調査の期間 平成7年3月17日～平成7年5月11日
- 発送数 2,700件
- サンプル数 1,009件
- 回収率 37.4%

③ 施設・商品等の被害状況結果

代表者等の安否	代表者の安否	件数
	無事	873
	死亡	1
	ケガ	33
	1週間以上	11
	2週間以上	8
	1ヵ月以上	10
	無回答	37
	合計	973
	従業員の安否	件数
	無事	839
	死亡	2
	ケガ	3
	1人	31
	2人～4人	7
	5人～	2
	無回答	89
	合計	973
施設の被害状況	被害の程度	件数
	全壊	109
	半壊	169
	一部損壊	335
	あまり被害無し	315
	無回答	45
	合計	973
設備の被害状況	全部更新	127
	一部更新の必要あり	278
	被害無し	221
	無回答	347
	合計	973
商品・製品等の被害状況	全く使えない	164
	被害無し	284
	一部使用可	273
	無回答	252
	合計	973
営業状態	営業の可否	件数
	営業可能営業再開の目途	199
	不能	74
	5月まで不能	16
	8月まで不能	9
	12月まで不能	5
	無回答	670
合計	973	

部会別被害状況結果（直接・間接被害）

（被害金額の単位：千円）

部会別	サンプル数	直接被害額	件数	間接被害額	件数
工業	77	10,720,350	67	633,800	35
建設	97	632,980	61	696,560	33
植木・園芸	9	70,200	5	17,100	5
商店会	153	944,240	109	329,760	59
市場	65	489,600	55	103,300	34
商業	185	1,994,490	137	1,741,810	72
料飲	184	704,420	128	281,510	68
理美容	90	205,350	59	64,680	30
観光	17	10,261,360	12	7,536,000	8
運搬・サービス	132	67,943,130	81	943,680	30
合計	973	93,966,120	714	12,348,200	374

(2) 農用地等の被害

被害状況は、おおむね西谷地区を除く市内のほぼ全域で認められ、農用地等の生産基盤に係る被害においては、畦畔が崩壊したりまた、亀裂が入るなどして水がもたなくなった田が山本、口谷、川面地区に見受けられた。また、古くなった納屋、農業用倉庫、農機具庫から収納されている農機具にまで被害が及び、農家住宅も多数崩壊・一部損壊したために農業経営基盤に大きな影響を与えた。

特に山本地区は、高級園芸鉢物、盆栽等展示場兼栽培場の被害損傷が多く見られ、丸橋、口谷地区においても造園等の資材、灯籠等、園芸商品にまで被害が及び被害額が拡大した。

また、中筋地区においても、温室、ガラス室等の被害が著しく見受けられ、その他市内全域においても同様の被害が随所に見られた。

畜産関係では、南部で唯一酪農を営んでいた農家が、牛舎の倒壊により被災、家の人は救出されたものの飼育していた乳牛の7頭が圧死するなどの被害を受けた。

酪農家の負傷、入院により残された乳牛の世話ができず、牛は西谷地区の酪農家に引き取られた。

農用地、農業施設被害状況等一覧（宝塚市）

平成7年2月13日現在

種 類	被害の状況等		被害見積額 (千円)	備 考
	区 分	件数		
農用地等	全 壊	3	3,000	畦畔、鉢物栽培 ほ場等を含む
	半 壊	6	8,500	
	一部損壊	1	200	
	小 計	10	11,700	
農作物等	全 壊	7	33,500	灯籠、盆栽、高級園芸鉢物、乳 牛等を含む
	半 壊	12	16,450	
	一部損壊	13	5,700	
	小 計	32	55,650	
構築物等	全 壊	63	558,300	納屋、農業用倉 庫、農作業場、 温室、事務所、 牛舎、農機具等 を含む
	半 壊	43	204,570	
	一部損壊	49	91,630	
	小 計	155	854,500	
合 計	全 壊	73	594,800	
	半 壊	61	229,520	
	一部損壊	63	97,530	
	計	197	921,850	

前表のように市内の農用地、農家施設の被害件数は197件、被害総額は、9億2,185万円にも及んだ。

(3) 観光関連サービス業の被害

観光宝塚のシンボルである歌劇のホームステージ・大劇場は、舞台関係の装置が損傷、スプリンクラーが作動して水浸しとなり、客席が一部落下した。一方、隣接するファミリーランドは施設屋体8棟が倒壊し、遊具のビスやナットが飛散し、飛行塔が屈曲するなど、16万5,000m²の施設全体に被害を受け物損額は40億にのぼった。

また、日本一のグレードを誇る宝塚（阪神）競馬場は、自慢の大屋根の支柱損壊や、立体駐車場正門の歩道橋が損壊した。

寺院にあっては、安産祈願等で多くの参拝客で賑わう中山寺は、土塀や庫裏のほとんどが倒壊した。清荒神は山腹に位置していたため比較的被害は少なかった。

一方、宝塚温泉を支えてきた各宿泊施設も甚大な被害を受け、和風旅館は全て全壊・半壊状態となった。鉄筋コンクリート造りのホテルも亀裂が生じるなど、大きな被害を受けた。この結果震災前12軒あったホテル・旅館（武田尾を除く）のうち5軒が廃業し、2軒が休業のやむなきに至った。

8 ライフラインの被害

水道、電気、ガス、通信、交通など、生活に不可欠な「命綱」ともいふべきライフラインの被害も決して小さくはなかった。

(1) 水道施設の概要

宝塚市は南部山麓部の開発に伴い、南部市街地に人口が集中している。水源は貯水池、深井戸、浅井戸及び河川表流水から取水するとともに、県営水道からの受水も得て市民に供給している。

① 主な水道施設

ア 貯水施設

名 称	概 要	
川下川貯水池	有効貯水量	2,650,000m ³
	水 源	(武庫川水系)川下川・新田川・曾川・惣川

イ 深井戸施設

名称	数量	施設能力	処理浄水場
小林	5井	12,200m ³ /日	小林浄水場
亀井	4井	7,600m ³ /日	亀井浄水場
川面	4井	12,700m ³ /日	川面浄水場
小浜	3井	8,000m ³ /日	小浜浄水場

ウ 浅井戸施設

名称	数量	施設能力	処理浄水場
高松	1井	1,300m ³ /日	亀井浄水場
小林	2井	3,600m ³ /日	亀井・小林浄水場
生瀬	4井	2,700m ³ /日	生瀬浄水場
川面	1井	3,500m ³ /日	川面浄水場
小浜	3井	10,000m ³ /日	小浜浄水場

エ 浄水施設

名称	施設能力	水源
生瀬浄水場	5,000m ³ /日	表流水、地下水
小浜浄水場	14,800m ³ /日	地下水
小林浄水場	20,100m ³ /日	表流水、地下水
川面浄水場	13,500m ³ /日	地下水
亀井浄水場	8,200m ³ /日	地下水
惣川浄水場	25,000m ³ /日	ダム水
玉瀬浄水場	2,000m ³ /日	ダム水

オ 配水池・加圧所 配水池45カ所 加圧所
30カ所

カ トンネル、管施設

取水・導水トンネル	延長	8,113m
導水管	延長	11,784m
送水管	延長	53,454m
配水管	延長	534,384m

② 地震による水道施設の被害状況

本市水道事業は、南部市街地を給水区域とする水道事業と北部地区を給水区域とする簡易水道事業を有しているが、震災による水道施設の被害は、給水戸数の98%が集中する南部市街地に集中した。

その被害の状況は、およそ次のとおりである。

ア 貯水池

六甲山系の裾野にあたり宝塚ゴルフ場内に位置する本市水道事業の予備水源である深谷貯水池（宝塚市蔵人字深谷外）の堤体上の通路舗装部の亀裂及び

余水吐部分のコンクリート部に若干の損傷を生じた。

イ 導水路

本市北部地域に位置する水道専用貯水池である川下川貯水池より惣川浄水場までの導水路（延長、約7km）中、無圧導水トンネル部の損傷により58カ所で湧水の発生をみた。

ウ 浄水場

本市の浄水場は、南部市街地に6箇所、北部地域に1カ所の7施設があるが、被災したのは、武庫川扇状地に位置する生瀬浄水場（西宮市生瀬東町地内）の沈澱池内に設置している傾斜板（3段5列347m²）の損壊と、武庫川右岸低地に位置する小林浄水場（宝塚市亀井町地内）のろ過池表面洗浄管（φ125mm）の破損であった。

エ 加圧所

加圧施設については、武庫川左岸東部低地に位置する米谷下加圧所（宝塚市売布ガ丘地内）の3基の送水ポンプ本体の吸込部の破断により、送水不能に陥った。

オ 配水池

配水池については、武庫川右岸台地に位置する小林配水池（宝塚市千種1丁目地内）の敷地内配管（φ350mm）が破損するとともに、石積擁壁の6カ所でクラック（長さ1,500mm～3,000mm、幅50～200mm）が入った。

カ 管路

管路の被害は、地質や地形の急変部、傾斜地盤、盛土地盤、宅地造成地などにおいて、地割れ、段差、水平移動、地滑り等の地盤変状に起因して離脱や折損などの形態で被害が発生し、その発生箇所は、送水管路については8カ所、配水管路は246カ所、また、布設替えによる復旧が必要な配水管路は、15路線、1,895mとなっている。

キ 給水施設

給水装置の被害件数は、分水栓から止水栓の間で159件、止水栓から水道メーター間では537件。また、宅地内の給水装置の被害件数は、約1万2,000件と推定される。

(2) 下水道施設の現状と被害

① 下水道整備の現状

宝塚市の下水道は、昭和33年度に浸水対策として小林都市下水道整備を行い、昭和46年武庫川以西の

市街化区域917.1haの事業認可を受け、公共下水道に着手した。その後、市街化区域の変更に伴う事業計画変更認可を経て、現在2,662.7haが汚水の事業認可区域となっている。

平成6年度末の汚水の整備状況は、整備済み面積が1,892.7haとなり、認可面積2,662.7haに対して71.1%の整備率で、人口普及率では、80.2%となっている。

一方、雨水の整備状況は、汚水整備区域のうち市街化区域の2,494.0haを対象に事業を行い、平成6年度末の雨水管渠の整備済み延長は13万7,534mとなり、進捗率は71.3%に達している。

② 下水道施設の被害

阪神・淡路大震災直前で、公共下水道污水管を使用している市民は、約14万6,000人、水洗化世帯数で約5万2,000世帯である。被災延長は、污水管約3.3km、雨水路約5.3kmの被害をうけた。

地域的には、污水管は、仁川北2丁目、仁川台、逆瀬台4丁目、山本西2丁目、中山寺1丁目、中山台などに被害が多く発生し、雨水路については、駒の町、大吹町、逆瀬台、宝松苑、宮の町、中山寺、売布、山本、南ひばりガ丘などに被害が多く発生した。

被害の内容として、污水管については、マンホールのずれ、塩ビ管及びヒューム管の破損、污水枿や取付管の破損と閉塞等の被害が多く発生した。

また、雨水路については、民家に接近した古い水路構造物が多く被災しており、水路の崩壊、クラック、傾き等が見受けられ、雨水管では亀裂、損傷等の被害を受けた。

(3) 電力施設の被害(関西電力(株)の被害状況)

① 地震発生時の状況

神戸支店管内を中心に火力発電所、送電線、変電所及び配電線などの電力供給設備に甚大な被害を受けた。

神戸・阪神間は背後の六甲山系に位置する変電所から電力供給されており、500kVの基幹系統ではほとんど影響がなかったものの、275kV以下の送電・変電系統は広範囲で送電に影響し、供給に支障を生じた変電所数は189カ所に及んだ。

神戸市や阪神間各都市を中心に地震発生直後約260万軒、午前7時30分で約100万軒が停電する事態となった。

関西電力(株)が被害状況をまとめた表によれば、次頁のとおりとなる。

② 宝塚市域の状況

災害時は、市内全域にわたり電灯、動力を含み約9万軒が停電となったが災害当日の8時52分に武庫川右岸全域が復旧し、13時1分武庫川左岸の一部を除き復旧、3日後の1月20日には完全復旧した。

(4) ガス供給施設の被害(大阪ガス(株)の被害状況)

① ガス供給停止

地震発生後直ちに「地震対策本部」を本社及び各地区に設置し、復旧体制の組織化を図り被災状況の把握に努めた。調査の結果、中圧ガス導管に被害があり、低圧ガス導管にも大きな被害が発生していることが判明。洩れたガスへの引火等の二次災害を防止するため17日午前11時30分、特に被害の大きい神

被災箇所の概要

		武庫川処理区		原田処理区	
汚水管	管路被災延長	2,938m		313m	
	ます被災箇所数	296箇所		53箇所	
	取付管被災箇所数	252箇所		39箇所	
	マンホール被災箇所数	451箇所		69箇所	
		宝塚排水区	良元排水区	小浜排水区	長尾排水区
雨水路	幹線被災延長	54m	716m	23m	221m
	面整備管被災延長	592m	1568m	1951m	192m
	合計	646m	2284m	1974m	413m

設備被害状況総括表

設 備			単 位	被 害 数			
				主要電気工作物の損傷	(*1)その他被害	合 計	
発電設備	発 電 所		箇 所	5	5	10	
	内 訳	ボイラー(ガスタービン)	ユニット	8	12	20	
変電設備	変 電 所		箇 所	17	33	50	
	内 訳	変圧器	台	23	29	52	
		しゃ断器	台	9	1	10	
		電力用コンデンサ	台(群)	4		4	
		分路リアクトル	台	5		5	
		断路器	台		41	41	
		避雷器	台		15	15	
		母線	箇 所		7	7	
		建物	箇 所		15	15	
中性点接地装置ほか	台		32	32			
送電設備	架 空	線 路		線 路	11	12	(*2) 23
		内 訳	電線	径 間	3		3
			支持物	基	11	9	20
			がいし	基	3	36	39
			敷地ほか	式		1	1
	地 中	線 路		線 路	3	99	(*2) 102
		内 訳	ケーブル	条	20	385	405
			管路	径 間		212	212
			人孔	箇 所		268	268
			専用橋・橋梁添架	箇 所		14	14
終端架台			箇 所		4	4	
給油装置	箇 所		2	2			
		その他	式	1	1	1	
配電設備 (*3)	線 路		回 線	(11) 649		(11) 649	
	架 空	電線	径 間	(1) 7,760		(1) 7,760	
		支持物	基	11,289		11,289	
		がいし	基	(1)		(1)	
	内 訳	変圧器	台		5,346	5,346	
		地 中	ケーブル	条	(11) 185	1,913	(11) 2,098
管路			径 間		(9) 437	(9) 437	
	人孔	箇 所		294	294		
通信設備	通 信 線 回 線		回 線		76	76	
	内 訳	通信ケーブル	径 間		171	171	

(*1)：主要電気工作物の軽微な被害及び主要電気工作物以外の被害。

(*2)：架空送電線路23線路、地中送電線路102線路の内架空・地中併用線路が6線路あるため被害のあった送電線路は、119線路である。

(*3)：配電設備の()は、特別高圧配電線路分別掲。

(関西電力株式会社発行「阪神・淡路大震災」復旧記録)

戸市・芦屋市の一部のガス供給の停止を決定した。その後、供給停止地域を順次拡大し、神戸市や阪神地区を中心に約85万7,400戸の顧客に対してガス供給を停止した。

② 宝塚市域の状況

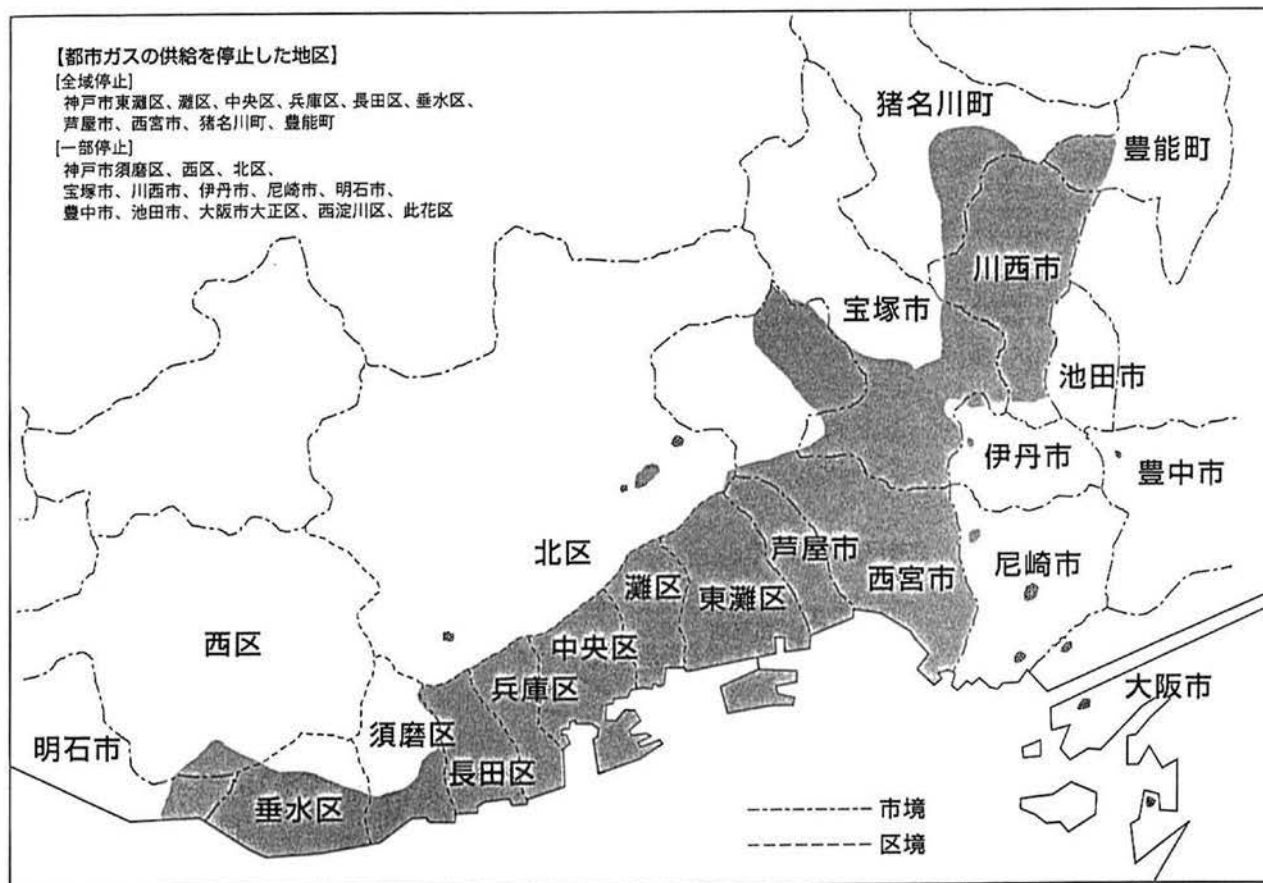
市内各地でガス洩れが発生し、供給戸数7万5,700戸の89%にあたる6万7,400戸の顧客にガス供給を停止した。

(5) 電気通信施設の被害(NTTの被害状況)

① 被害の概要

今回の震災は、情報化社会の生活が一般的になってから初めて経験する大都市の直下型地震で、兵庫県を中心に未曾有の大災害をもたらした。電気通信サービスも被害を免れることはできず、設備被害とともに過去の災害のいずれも上回る通話の輻輳(通

図3 ガス供給停止地区（行政別）



(大阪ガス株式会社 「阪神・淡路大震災」被害・復旧記録)

話量が回線設備量を上回り、新たな通話がかかりにくくなる状態」という事態に直面した。

② 電話回線被害状況

行政名	被害回線数	行政名	被害回線数		
兵庫県	明石市	1,400	兵庫県	三木市	500
	神戸市	121,950	淡路島	6,550	
	芦屋市	9,200	大阪府	豊中市	1,690
	西宮市	34,000		吹田市	10
	宝塚市	7,100		池田市	30
	川西市	3,150		箕面市	20
	伊丹市	3,200		大阪市	320
	尼崎市	4,280		合計	193,400

③ 所外設備の被害状況

ケーブル、電柱、管路など多くの通信設備が被害を受けた。所外設備や建物は損傷したが、交換機は正常に作動し続けた。

④ 宝塚市域の状況

約8万回線の内、震災発生後、市内で7,100回線が不通となったが、家屋倒壊によりNTT預かりとなった3,600回線を除き、2月9日までに、3,500回線が復旧した。

所外設備の被災状況

項目	架空ケーブル(km)		地下ケーブル(km)		電柱(本)		管路(km)		マンホール	
	整備数	被災設備数	設備数	被災設備数	設備数	被災設備数	設備数	被災設備数	設備数	被災設備数
西宮市	1,000	29	380	1.7	13,000	700	1,400	35	1,600	550
芦屋市	200	11	100	0.7	2,800	250	270	15	400	230
宝塚市	600	8	270	0.3	6,900	160	830	7	800	100
伊丹市	500	0.6	240	0	6,700	30	650	2	700	0
川西市	600	0.2	190	0.08	7,200	1	500	0	500	30
計	2,900	48.8	1,180	2.78	36,600	1,141	3,650	59	4,000	910

9 交通機関の被害

阪神・淡路大震災は、鉄道、幹線道路、高速道路、路線バスといった市民の日常生活を支える必要不可欠な移動手段を寸断し、多くの交通基盤施設を破壊した。

特に、阪神高速道路神戸線、名神高速道路、湾岸線、中国自動車道といった高規格幹線道路の崩落は一般道路への迂回車両の流入に拍車をかけ、大渋滞を発生させる原因となり、結果として経済活動のみならず復興活動にも大きな障害となって立ちはだかった。

(1) JR・民営鉄道の被害

事業者名	構造物等の主な被害状況	
JR西日本	(山陽新幹線)	<ul style="list-style-type: none"> 高架橋等落橋 8カ所 高架橋等柱部損傷 橋りょう桁ずれ 六甲トンネル内壁一部損傷
	(在来線)	(東海道線) <ul style="list-style-type: none"> 高架橋破壊、損傷 駅舎破壊、損傷 ホーム損傷 (山陽線) <ul style="list-style-type: none"> 橋りょう桁ずれ よう壁破壊、損傷 駅舎損傷 ホーム損傷 (福知山線) <ul style="list-style-type: none"> ホーム損傷 (車両) <ul style="list-style-type: none"> 損壊・損傷 134両
阪急電鉄(株)	(神戸線) <ul style="list-style-type: none"> 高架橋破壊、損傷 よう壁破壊、損傷 駅舎損傷 (伊丹線) <ul style="list-style-type: none"> 高架橋破壊 伊丹駅舎破壊 ホーム破壊 (宝塚線) <ul style="list-style-type: none"> 高架橋損傷 (今津線) <ul style="list-style-type: none"> こ線橋落下(新幹線、国道) (甲陽線) <ul style="list-style-type: none"> ホーム損傷 駅舎損傷 (車両) <ul style="list-style-type: none"> 損壊・損傷 92両 	
阪神電気鉄道(株)	(阪神本線) <ul style="list-style-type: none"> 高架橋破壊、損傷 桁落下 8カ所 石屋川車庫破壊 よう壁破壊、損傷 	

	<ul style="list-style-type: none"> 盛土崩壊 駅舎破壊、損傷 ホーム破壊、損傷 (車両) <ul style="list-style-type: none"> 損壊・損傷 126両
神戸電鉄(株)	(有馬線) <ul style="list-style-type: none"> 切取法面崩壊 トンネル損傷 ホーム損傷
山陽電気鉄道(株)	(本線) <ul style="list-style-type: none"> よう壁破壊、損傷 橋りょう損傷 トンネル中間柱損傷 駅舎損傷 ホーム損傷 トンネル中間柱損傷 (車両) <ul style="list-style-type: none"> 損壊・損傷 18両
北神急行電鉄(株)	<ul style="list-style-type: none"> トンネル損傷

資料:国土庁編「平成7年版防災白書」より作成(運輸省調べ)

(2) 宝塚市内の交通ネットワークの被害

JR宝塚線——電化柱の倒壊と中山寺駅では、ホーム、上屋が破損した。

阪急電鉄宝塚線——平井車庫で高架橋等が損傷したため車両60両が脱線、台車やパンタグラフに大きな被害が出た。

阪急電鉄今津線——宝塚駅～南口駅間で車両が脱線した。

西宮市域の国道171号と山陽新幹線の跨線橋が線路上に落下した。

お知らせ 1.25

現在の運転状況をお知らせいたします。

<運転できない線区>

新幹線 (新大阪～姫路)

JR神戸線 (芦屋～須磨)

※芦屋～三ノ宮間については、代替バスを、6:30～22:00の間、運行しています。

<運転数が少ない線区>

新幹線 (姫路～博多)

※ひかり(姫路～博多間) 2本/時

こだま(姫路～博多間) 2本/時

JR京都線、琵琶湖線 (米原～大阪の一部新快速・快速・普通列車を運転)

※ラッシュタイム 新快速(草津～大阪) 1～2本/時

快速・普通 ほぼ正常

データタイム 新快速(草津～大阪) 2本/時

快速・普通 ほぼ正常

JR神戸線 (大阪～芦屋の普通列車のみ運転)

※ラッシュタイム 8～15本/時

データタイム 8本/時

<JR以外で運転できない線区>

- 阪急 (神戸線:西宮北口～三宮)
- (伊丹線:新伊丹～伊丹)
- (今津線:門戸厄神～宝塚)
- 阪神 (本線:青木～元町)
- 神戸市交通 (新神戸～板宿)
- 山陽電鉄 (西代～霞ヶ丘)
- 神戸高速鉄道 (新開地～鈴蘭台、有馬口～有馬温泉)
- 神戸電鉄

西日本旅客鉄道株式会社 大阪駅長

【路線バス】

※道路損壊のため運行できなかった区間及び期間

阪急バス

中山台線（阪急中山～山手4丁目）

1 / 20～3 / 9

逆瀬台線（逆瀬川1丁目～逆瀬台センター）

1 / 17～3 / 9

武庫川線（阪急逆瀬川～甲東園）

1 / 17～1 / 24

〃 〃 （甲東園～JR甲子園口）

1 / 17～3 / 1

西谷バス

宝塚線（宝塚～宝塚市民会館） 1 / 17～1 / 19

10 公共施設等の被害

(1) 教育・文化施設の被害

① 学校教育施設の被害

今回の地震が直下型地震で、限られた地域が非常に強く揺れたため、その被害程度は宝塚市内でもかなり差がある。

震災で被害を受けた学校（園）教育施設は、被害程度にも格差はあるが、幼稚園では16園中9園、小学校では24校全部、中学校においても12校全部、また養護学校、それぞれが被害を受けた。

特に顕著な被害状況としては、建物では宝塚小学校の中校舎棟及び南校舎棟、宝塚第一中学校の南校舎棟、東校舎棟及び技術棟、並びに長尾中学校の北校舎棟の被害が甚大で、いずれも解体し、一体的に建てなおすこととなった。

また、敷地では、特に逆瀬台小学校及び光ガ丘中学校の擁壁等の被害が大きい。水泳用プールでは、南ひばりガ丘中学校、光ガ丘中学校及び売布小学校が大きな被害を受けた。

これら学校（園）教育施設に係る被害額（平成8年3月末日現在、設備、備品関係を除いた復旧費用）は、平成8年度予定を含めて、約48億円になる見込みである。

学校教育施設の被災状況

施設名	被災状況
良元幼稚園	園舎壁、土間、敷地等損傷
宝塚第一幼稚園	特になし
小浜幼稚園	特になし
宝塚幼稚園	園舎壁、窓、舗装等損傷
長尾幼稚園	園舎壁損傷
西谷幼稚園	特になし
仁川幼稚園	園舎壁、土間等損傷
西山幼稚園	園舎壁、土間、花壇、玉石積擁壁等損傷
売布幼稚園	特になし
長尾南幼稚園	園舎壁、土間、舗装等損傷
末成幼稚園	園舎壁等損傷
安倉幼稚園	特になし
中山桜台幼稚園	特になし
中山五月台幼稚園	特になし
丸橋幼稚園	園舎壁損傷
高司幼稚園	園舎壁、土間、舗装等損傷
良元小学校	校舎柱、壁、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部等損傷
宝塚第一小学校	校舎壁、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部等損傷
小浜小学校	校舎柱、壁、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部等損傷
宝塚小学校	北校舎壁、フェンス等損傷、中・南校舎棟半壊
長尾小学校	校舎柱、壁、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部等損傷
西谷小学校	校舎一部壁、ガラス損傷
仁川小学校	校舎・屋内運動場壁、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部等損傷
西山小学校	校舎壁、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部、屋内運動場屋根等損傷
売布小学校	校舎壁、屋体床部、敷地、プール等損傷
長尾南小学校	校舎壁、床、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部、ガラス等損傷
末成小学校	校舎壁、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部、ガラス、舗装等損傷
安倉小学校	校舎壁、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部等損傷
中山桜台小学校	校舎壁、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部等損傷
長尾台小学校	校舎壁、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部、埋設汚水管等損傷
逆瀬台小学校	校舎壁、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部、校地南側擁壁等損傷
美座小学校	校舎壁、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部、ガラス等損傷
光明小学校	校舎壁、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部、ガラス等損傷
末広小学校	校舎壁、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部、ガラス等損傷
中山五月台小学校	校舎壁、ガラス等損傷
丸橋小学校	校舎壁、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部等損傷
高司小学校	校舎壁、床、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部、ガラス等損傷
安倉北小学校	校舎壁、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部等損傷
すみれガ丘小学校	校舎壁、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部、舗装等損傷
山手台小学校	校舎エキスパンションジョイント(つなぎ目)部等損傷
宝塚第一中学校	北校舎壁等損傷、南・東・技術校舎棟半壊
宝塚中学校	校舎壁、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部、ガラス等損傷
長尾中学校	南校舎壁等損傷、北校舎棟半壊
西谷中学校	校舎壁、土間損傷
宝梅中学校	校舎壁、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部等損傷
高司中学校	校舎壁、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部、プール、花壇等損傷
南ひばりガ丘中学校	校舎壁、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部、プール、敷地等損傷
安倉中学校	校舎壁、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部等損傷
中山五月台中学校	校舎壁、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部等損傷
御殿山中学校	校舎壁、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部、舗装等損傷
光ガ丘中学校	校舎壁、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部、プール、敷地等損傷
山手台中学校	屋内運動場屋根損傷
養護学校	校舎壁、エキスパンションジョイント(つなぎ目)部、ガラス等損傷

② 社会教育施設被害

社会教育施設の被害

施設名	被害状況
中央公民館	建物 防火ドア破損 内・外壁クラック 室内間仕切り破損
東公民館	建物 館内漏水 壁及びタイルクラック、駐 車場クラック、ホール照明 等破損 備品 テレビ、ビデオプロジェク ター等) 破損
西公民館	建物 内・外壁クラック 壁・床タイル剥離 手摺、窓、花壇、駐車場及 び外部溝まわり破損
中央図書館	建物 空調機、受水槽破損及び空 調ダクト、配管、ファンコ イル破損 高圧電力引込み線破損 天井ボード破損 高圧電力引込み線破損 地盤陥没

施設名	被害状況
中央図書館 (つづき)	建物 広場タイル陥没 壁クラック及び剥離 外灯破損 備品 雑誌架、書架、展示ケース、 保管庫 図書
西図書館	建物 配水管破損、水漏れ 壁クラック、防煙ガラス壁 クロス損傷 備品 図書、書架破損
小浜宿資料館	建物 壁クラック及び剥離 塀クラック 備品 展示説明板破損
スポーツセンター	テニスコート8面破損 同 フェンス破損 高司グラウンド フェンス破損 体育館漏水

③ 文化施設等の被害

施設名等	被害状況
市民会館	1階客席部分陥没、内・外壁亀裂、ガラス破損、漏水、照明器具破損、玄関 付近地盤沈下、消火用タンク亀裂等外
市民会館分館南口会館	男女トイレ壁等に亀裂、玄関部分亀裂等
ベガ・ホール	パイプオルガン破損、外壁タイル落下、空調ダクト等破損、給水管等破損外
ソリオホール	廊下部分の床、壁に亀裂、会議室内壁に亀裂、男女トイレ損壊外
勤労福祉会館	内・外壁・床の亀裂、給排水損傷、電気設備損傷
女性センター	全室窓ガラス損壊、壁・天井亀裂、各所損傷
第1隣保館	内・外壁の亀裂、エアコン室外機損傷
第2隣保館	別館全壊、本館・渡り廊下陥没損傷、地盤亀裂
第3隣保館	空調機の給排水管損傷、内・外壁小さな亀裂
手塚治虫記念館	外構部地割れ、館内内装・備品落下
国際・文化センター	窓ガラス破損、高架水槽及び配管破損、水漏れ、内壁亀裂、外壁損壊

④ 共同利用施設等の被害

共同利用施設25館のうち14館、地域利用施設3館のうち2館が被害を受けた。被害の詳細は次のとおりである。

地域利用施設の被害

施設名	主な被害状況
光明会館	外壁、内壁の亀裂、損傷。軒天井の破損。
美座会館	外壁、内壁の亀裂、損傷。

共同利用施設の被害

施設名	主な被害状況
山本会館	電灯幹線の遮断。水道、ガス、排水管等地中埋設管の損傷。自動火災報知機設備の損傷。壁クラック。基礎杭の全壊。
中筋会館	擁壁、フェンスの損傷。外壁内壁、天井板、廊下、犬走り部分の亀裂破損。空調機の損傷。
中山寺会館	排水管等地中埋設管、浄化槽の損傷。内壁、天井板の亀裂、破損。玄関ガラスの破損。
小浜会館	境界塀の損傷。内壁の亀裂。ガラスの破損。
美幸会館	外壁、内壁、天井板の亀裂、破損。排水管の損傷。窓ガラスの破損。
小林会館	外壁、内壁の亀裂。廊下Pタイルの破損。空調機の破損。
売布会館	外壁、内壁、天井板の亀裂、破損。玄関ガラスの破損。
安倉会館	窓ガラスの破損。
米谷会館	窓ガラス、天井板の破損。
長尾南会館	窓ガラス、天井板の破損。
山本野里会館	外壁、内壁の破損。
川面会館	境界塀の損壊。
高松会館	境界塀の断裂。門扉の破損。犬走りの亀裂。
鹿塩会館	給水管の破損。

⑤ 文化財の被害

宝塚市内の国・県・市指定文化財82件のうち、以下の5件が顕著な被害を受けた。また、歴史公園や、歴史的建造物についても、被害があった。その詳細については、次のとおりである。

文化財の被害

文化財名	主な被害状況	備考
「国指定重要文化財」八幡神社	覆屋が倒壊(修復可能)	修復費 約7,600万円
「県指定重要文化財」素盞鳴神社 「県指定重要文化財」中山寺護摩堂	覆屋が倒壊 柱・梁一部被災	
「市指定文化財」泉流寺十一面観音菩薩立像 「市指定文化財」売布神社社号標石	前方向に倒壊、足先一部破損 「売布社」銘の社号標石が倒壊	
「仁川高丸歴史公園」	仁川旭カ丘古墳が所在する仁川高丸歴史公園の擁壁の一部に亀裂	
「歴史的建造物」	江戸後期から昭和初期に建築された社寺及び民家の多くが被災した。兵庫県や日本建築学会の調査で約200件の歴史的建造物が被害を受けたことが判明し、その内、全壊及び撤去されたものは約40件、半壊10件で25%以上にのぼる。	

(2) 医療・福祉施設の被害

① 医療施設の被害

市立病院は、施設本体にクラック等が生じたほか、給配水管、空調設備、給湯設備等にも被害があったが、入院患者への対応や、外来診療については一部支障をみたものの大きな混乱を生じることなく対応

できた。

市立病院の概要

病床数： 300床

延床面積：本体（附属棟含む）19,998.64㎡

医師宿舎320.80㎡

看護婦宿舎 1,238.29㎡

構造：SRC造 階数：地上8階建

被害の状況

施設名	損壊状況	損壊の具体的状況
宝塚市立病院	一部損壊	<p>『建物・設備の被害』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内壁、外壁、屋上スラブにクラック ・扉枠ひずみ、建物棟接合部破損、窓ガラス破損 ・建物回り土地陥没、段差 ・建物回り給排水管破断 ・病棟等全建物設備にわたり漏水発生 ・MRI装置等医療機器、設備、備品類の破損 <p>『給水(飲料)の被害』 1/17~1/18 12:20まで断水。病棟等給水管破損</p> <p>『給水(医療用)の被害』 3階手術部門天井内滅菌水用配管接続部破断、水漏れ</p> <p>『排水の被害』 RI処理槽の排水管その他各部所で排水管の破断</p> <p>『給湯の被害』 ボイラー、給湯一時停止。中央機械室給湯管破損</p> <p>『電気の被害』 地震発生から7:14まで停電。この間非常用自家発電作動 7:14通電後も漏電による一部通電不可</p> <p>『暖房・空調の被害』 1/17~1/22 12:30まで暖房なし</p> <p>『医療ガスの被害』 コンプレッサーへの給水管破断 液体酸素タンク傾斜、不等沈下</p>
健康センター	一部破損	避難用通路・表玄関クラック、内壁クラック・階段クラック、機械室冷温水管水漏、冷却塔損壊、照明器具破損、体育館雨漏
休日応急診療所	一部破損	診療室内壁等クラック
米谷トラホーム診療所		薬品庫ガラス破損

② 福祉施設の被害

公立保育所9園のうち4園、私立保育所5園のうち4園が被害を受けた。

被害状況

	施設名	損壊状況	具体的状況
必要 建替	米谷保育所	全壊	コンクリート脚柱の折損、地盤沈下による地盤の支持力の劣化
	私バラホーム保育所	全壊	木柱の折損及び基礎部分の亀裂
修繕 が 必要	仁川保育所	一部損壊	床面の傾斜等
	めふ保育所		建具、グリストラップ等の損壊、浄化槽損壊、汚水配水管損壊
	平井保育所		壁面クラック、トイレ等損壊
	私伊子志保育園	その他	非常階段の沈下等
	私さくら保育園		門扉、インターロッキング損傷
私あひる保育園	浄化槽損壊		

(3) 環境衛生施設の被害

① クリンセンターの被害

クリンセンター全体としては大きな損壊はなかったものの、下記の被害が出た。

廃棄物処理施設の被害

- プラント関係 汚泥乾燥設備給気ダクト（ごみ焼却施設）
磁力選別機減速機破砕（粗大ごみ処理施設）
沈殿池汚泥かき寄せ機脱落（し尿処理施設）
ランプウエイ、犬走り、スロープ等の段差（施設共通）
壁面クラック、EXP損傷、ドア損傷（施設共通）
給配水損傷（施設共通）
アスファルト亀裂（施設共通）

② 公衆便所の被害

ブロック塀の倒壊、屋根瓦の破損及び配水管の破損、便器及びドアの破損

③ 環境衛生施設の被害

西山霊園 管理事務所一部破損
石積崩壊・石碑等倒壊
長尾山霊園 石碑等倒壊

(4) その他市有施設の被害

① 本庁舎の被害

庁舎内全体的に大きなクラックが入ったが、柱、梁とも健全であり構造上に問題はなかった。建物の損傷度の判定は、Aランクで立ち入り可能（通常使用可能）であった。また、外構に大きな亀裂が走った。

- ・内外部壁面斜めクラック及び床面クラック
- ・水道庁舎とエキスパンション部分の隙間
- ・地下階段ホール及びエレベーターピット内の漏水
- ・構内通路等のアスファルト舗装にクラック
- ・屋外配水管等の沈み及び詰まり等

② 水道庁舎の被害

- ・非構造材（内外装）に剝離、大きなクラック

③ 消防本部関係庁舎の被害

市内に点在する各消防署及び出張所は被害を受け

たが、そのなかでも消防本部・西消防署合同庁舎、東消防署、東消防署米谷出張所の3庁舎は被害の程度が大きかった。

ア 消防本部・西消防署合同庁舎の被害

ドアの一部損傷、通路壁面一部損壊、門扉の破損、地盤の不等沈下

イ 東消防署の被害

外・内壁のクラック及び剝離、側溝・土間コンクリートの亀裂、街灯が転倒

ウ 東消防署米谷出張所

地盤の不等沈下、門扉・ホース乾燥機・外壁非常階段の損傷、土間・庁舎外・内壁の破砕

④ 支所・出張所

本市には、長尾支所、西谷支所、雲雀丘出張所があり、そのうち、長尾支所で隅角部、開口部に亀裂、水道管破損による漏水の被害を受けた。

(5) 各種行事の中止・延期

震災で被害があったものの、使用可能な社会教育施設、文化施設等は被災者の避難所となった。

これにより、各種団体等の練習や発表の場が失われ、また公民館等におけるサークル活動・講座事業、市民美術展、各種鑑賞事業、さらに宝塚まつり等の事業が中止のやむなきに至り、あらゆる分野にわたる文化・学習活動が制約されることとなった。中止・変更した主な事業は次頁のとおり。

中止・変更した主な事業

担当	行 事 名	実 施 予 定 日	中止	変 更 等
社 会 教 育 課	第8回ウォーキングホリデイ 大学公開講座 家庭教育学級、ファミリースクール 家庭教育推進大会 家庭教育学級交流会 ファミリースクール交流会 障害セミナー 青年の集い 文化財調査報告書発行 生涯学習講座「少子化・高齢化社会へのシナリオ」 『生涯学習だより』 生涯学習講座	4月2日 8月 1月～3月 3月 2月 2月 2月 2月 1月～3月 2月号 7年度	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	
青 少 年 育 成 課	親子綱引き大会 親子凧上大会 青少年育成啓発資料「かたらい」 青少年セミナー	1月22日 2月5日 3月 7月	● ● ● ●	
中 央 ・ 東 ・ 西 公 民 館	市民セミナー 教養ゼミナール 文化フォーラム 高齢者講座「宝塚カレッジ」 「いのち・愛・人権講座」 人権パネル展 講座「日本の歴史」 「子ども・育ち講座」 市民囲碁大会 公民館利用グループ・団体代表者研修会	1月21日・28日 2月23日 3月2・9・16・23日 1月28日 3月4・18日 1月17・18・19・23・26・27・30日 2月27日 3月7・11・14・22日 3月7日～11日 1月25日 2月22日 3月22日 3月3・10・17・24日 2月5日 1月25日 2月24日 3月24日 4月 25日 5月25日	● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	一部変更実施 平成8年1月26日 2月9・23日 3月8・ 22日に変更実施 9月6・13日変更実施 平成8年3月8・15・ 19日に変更実施
中 央 図 書 館	お話会 かみしばい レコードコンサート ビデオ映写会 館外サービス(分室・移動図書館)	1月21・28日 1月22日 1月23日 1月29日 1月17日	● ● ● ● ●	
西 図 書 館	LD上映会 おはなし会	1月22・29日 2月5・11・19日 1月28日 2月25日	● ●	
少 年 自 然 の 家	平成6年度 第2回天文学校 第3回天文学校 第4回自然学習会 チビッコキャンプ 平成7年度 第1回自然学習会 フェスティバル 第2回自然学習会 社会教育団体指導者講習会 第1回土に親しむ親子のつどい	1月28～29日 2月25～26日 3月11～12日 3月28～29日 4月15～16日 5月5日 6月17～18日 7月1日 6月10～11日	● ● ● ● ● ● ● ● ●	
ス ポ ー ツ セ ン タ ー	平成6年度 ・市民大会 バスケット、バトミントン ・市民教室 卓球教室、親子体操教室、障害者運動教室、 少年野球教室、少年サッカー教室 ・指導者教室 少年野球指導者講習会、少年サッカー指導 者講習会 第4回武庫リバースポーツフェスタ 第12回スポーツカーニバル 第3回夏休みリバーサイドキャンプ大会 スポーツイベント 全日本グラウンドベテランソフト大会		● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	

担当	行 事 名	実 施 予 定 日	中止	変 更 等
手塚治虫記念館	第3回企画展「手塚治虫テレビアニメーション展」	会期4カ月		2カ月半に変更
国際・文化センター	日本語教室 外国語コミュニケーション教室 (国際交流協会主催) 国際・文化センター企画展	1月17日～2月28日 3月まで開校予定 2月予定	●	休講 1月17日で中止
文化振興課	宝塚市展 宝塚伝統芸能フェスティバル 宝塚芸術展 宝塚市展入賞者展 街かどコンサート 市民庭園開放事業 市民ホールミニ・コンサート 行政の文化講演会 阪神間モダニズム展	日程未定 5月3・4日予定 日程未定 日程未定 5月・9月各日曜日予定 5月中旬・11月中旬予定 月1回開催予定 日程未定 10/14～11/19日の内2週間を予定	● ● ● ● ● ● ● ● ●	
市民部総務	市民フェスティバル「第24回宝塚まつり」	8月23日～24日	●	
消費生活センター	消費生活展 朝市ガレージセール	2月20日～26日 毎月第4日曜	●	4月中止
公園緑地課	花と緑のフェスティバル 市民研修会	毎年4月下旬 年2回	● ●	
交通安全課	交通安全市民カーニバル	9月23日	●	
女性施策課	第4回世界婦人会議を考えるフォーラム 女性プラン策定 まちづくり実践事業 男性対象講座 女性問題専門講座 女性センターだより「エル・ぼーと」発行 利用グループ機関紙「えるぐる」発行 エル・パフォーマンス 土曜文化サロン 相談事業	3月1日 6年10月～7年9月 平成6年10月～平成7年3月 2月18～3月18日 全5回 1月14～3月18日 全7回 3月号 3月号 2月16～18日 平成6年5月～平成7年3月 平成6年4月～平成7年3月	● ● ● ● ●	平成8年3月策定完了 一部事業縮小 第2回以降中止 6月号と合併号として発行 平成7年7月に実施 1月～3月の開催を中止 休館中(1月17日～2月末日)中止